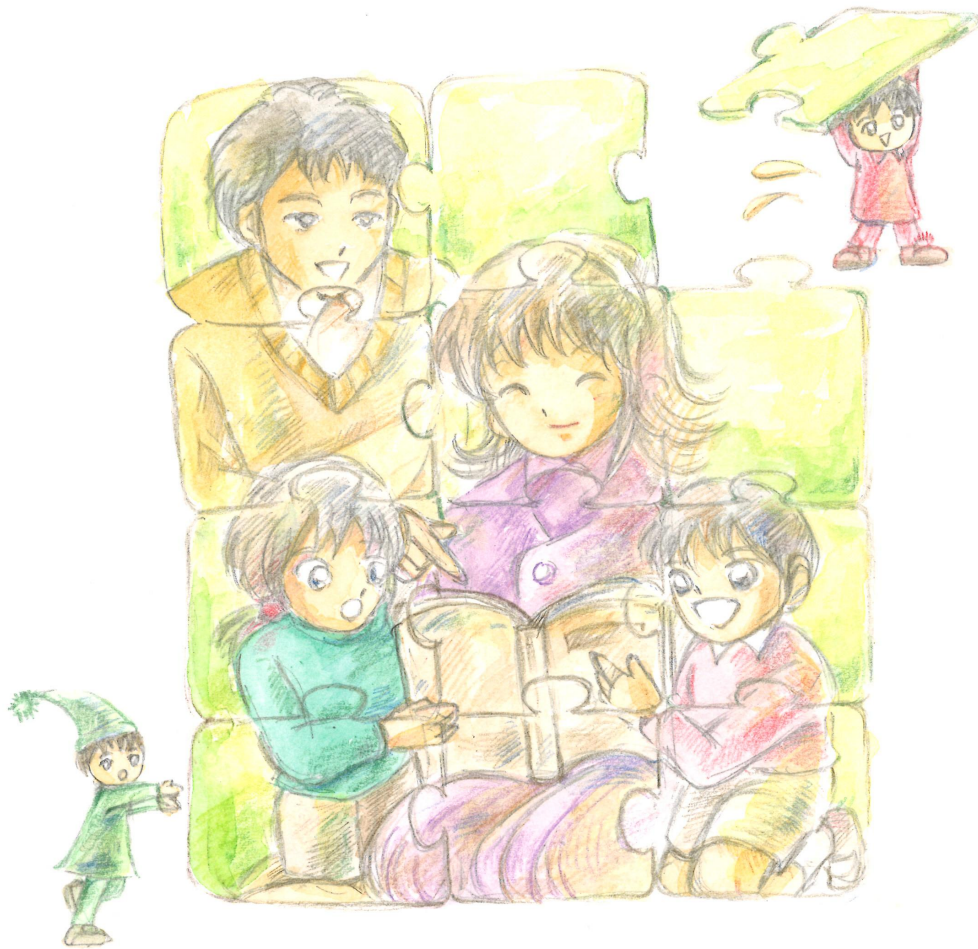


第二次宜野湾市 子どもの読書活動推進計画



平成 31 年 3 月

宜野湾市教育委員会



はじめに

子どもの読書活動は、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」(子どもの読書活動の推進に関する法律第2条)です。

本市においても、子どもにとって読書が大切な活動であることを認識し、子どもたちが、読書に親しむことができる環境を整えることを目的に、平成24年に「宜野湾市子どもの読書活動推進計画」を策定いたしました。

さて、ここ数年の情報通信や科学技術の発展は目ざましく、特にこれからの時代を生き抜く子どもたちには、日々変化する社会に対応する能力が求められます。

読書活動は、言葉や表現力等を学ぶとともに、多様な世界や人々の考え方に触れ、言語能力や思考力、想像力を高め、他者とのコミュニケーション能力を培い、「人生の質」を高める手段になると考えられております。

子どもたちが読書活動を通じて得る、さまざまな考え方やものの見方、自分で考え、自分の言葉で表現し、自ら行動する力を身に付けることは、子どもたち自身だけでなく、私たち宜野湾市の未来を大きく拓くことにもつながります。

そこで、将来を担う子どもたちの育成のために、この度「第二次宜野湾市子どもの読書活動推進計画」を策定いたしました。今回の計画の表紙にも、子どもたちが周囲の大人に支えられながら、読書を通してたくさんの知識を得て、その知識が、パズルを組み立てるように繋がり、子どもたちの可能性が大きく広がっていくことの願いを込めております。

むすびに、子どもの自主的な読書活動を進めるためには、保護者の皆さまや、先生方をはじめ、読書活動の推進に携わるボランティアの皆さまなど、多くの市民の皆さまのご理解とご支援が不可欠ですので、子どもと関わる皆さま方のお力添えをお願いいたします。「第二次宜野湾市子どもの読書活動推進計画」の策定にあたり、アンケート調査に貴重なご意見を寄せてくださいました多くの市民の皆さまに、深く感謝申し上げます。

平成31年3月

宜野湾市教育委員会

教育長 知念 春美

目 次

第1章 「第二次宜野湾市子どもの読書活動推進計画」策定について

| | |
|------------------------|---|
| 1. 子どもの読書活動を取り巻く環境について | 1 |
| 2. 第一次推進計画期間における取組の成果 | 2 |
| 3. 第一次推進計画期間における取組の課題 | 3 |
| 4. 計画の目的 | 3 |
| 5. 計画の目標 | 4 |
| 6. 計画の期間 | 4 |
| 7. 子どもの読書活動推進計画 体系図 | 5 |

第2章 読書活動推進のための取組

| | |
|------------|----|
| 1. 家庭・地域 | 7 |
| ・現状と課題 | |
| ・今後の取組 | |
| 2. 市民図書館 | 10 |
| ・現状と課題 | |
| ・今後の取組 | |
| 3. 幼稚園・保育所 | 13 |
| ・現状と課題 | |
| ・今後の取組 | |
| 4. 小学校・中学校 | 15 |
| ・現状と課題 | |
| ・今後の取組 | |

第3章 計画の効果的な推進に向けて

| | |
|--------------------|----|
| 1. 子どもの読書活動推進体制の確立 | 19 |
| 2. 普及・啓発活動 | 19 |

【資料編】

1. アンケート
2. 宜野湾市子どもの読書活動推進計画策定委員会設置要綱
3. 第二次宜野湾市子どもの読書活動推進計画策定委員名簿
4. 第二次宜野湾市子どもの読書活動推進計画の策定過程
5. 宜野湾市社会教育委員会議における委員の意見等
6. 子どもの読書活動に関する法律

第 1 章

「第二次宜野湾市子どもの 読書活動推進計画」策定について

第1章

「第二次宜野湾市子どもの読書活動推進計画」策定について

1. 子どもの読書活動を取り巻く環境について

「宜野湾市子どもの読書活動推進計画」（以下「第一次推進計画」）策定から7年が経過しておりますが、子どもの読書活動を取り巻く環境整備を推進することを基本理念とした、国や県の方策も変化してきました。

国の動向

国は、平成14年(2002年)8月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（以下「第一次基本計画」）を策定し、平成20年(2008年)3月には第二次基本計画を策定しました。さらに、平成25年(2013年)5月には第三次基本計画を策定、平成30年(2018年)5月に今後おおむね5年間(2022年度まで)にわたる国の施策の新たな方向性として第四次基本計画を策定しました。

改正の主なポイントとして3つ、

- ①読書習慣の形成に向けて、発達段階ごとの効果的な取組を推進
- ②友人同士で本を薦め合うなど、読書への関心を高める取組を充実
- ③情報環境の変化が子どもの読書環境に与える影響に関する実態把握・分析について示しました。

県の動向

県は、国の動向を受け、平成16年(2004年)3月に「沖縄県子どもの読書活動推進計画～五感に響かせるE・E・Tプラン」（以下「第一次計画」という）を策定し、平成21年(2009年)3月に第二次計画を策定しました。さらに、平成26年(2014年)3月には第三次計画を策定し、読書の量から質への転換をうながす取組を家庭・地域・学校の連携を強化して社会全体で子どもの読書活動を推進するよう示しました。

宜野湾市の動向

宜野湾市では、国・県の定めた「子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年法律第154号)」、「沖縄県子どもの読書活動推進計画～五感に響かせるE・E・Tプラン」を受け、本市の実情に沿った第一次推進計画を平成24年(2012年)3月に策定しました。

第一次推進計画策定後の平成27年(2015年)8月に、宜野湾市教育委員会では平成28年度(2016年度)から平成32年度(2020年度)までを計画期間とした「宜野湾市教育振興基本計画」を策定しました。さらに平成29年(2017年)3月に、平成29年度(2017年度)から平成36年度(2024年度)までの8年間を計画期間とした、本市の上位計画である「第四次宜野湾市総合計画」が策定されました。

子どもを取り巻く社会環境

近年、情報化社会の進展や絶え間ない技術革新により多くの恩恵を受ける一方、社会の構造や環境も急速に変化し、予測が困難な時代になっています。このような時代を生きていく子どもたちには、様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め新たな価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築していく力などが求められます。

子どもの読書活動は「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできない」活動のため、子どもたちのより豊かな成長のためにも、子どもが自主的に読書活動を行うことができる読書環境の整備を推進していく必要があります。

2. 第一次推進計画期間における取組の成果

第一次推進計画期間において、以下のような取組の成果が挙がりました。

- ① 子育て支援ブックスタート事業は、参加率95%以上を維持し、ブックリストの配布も継続実施することができました。(市民図書館)
- ② 読み聞かせボランティアの養成講座を実施し、おはなし会の実施回数の増や、新規のボランティアの活動場所の提供を行うことができました。(市民図書館)
- ③ 赤ちゃんタイムの実施、テーマ別展示やおすすめ本コーナー・時季の本コーナーを取り入れるなどし、来館しやすい環境づくりができました。(市民図書館)
- ④ 移動図書館(ちゅらゆめ号)を市内の全小学校(公立9校)を含む25ステーションを巡回することができました。(市民図書館)
- ⑤ 制作コーナーや季節の展示コーナーに、子ども達の活動と関連の深い本を置くなどし、読書環境の整備が図られました。(幼稚園・保育園)
- ⑥ 子どもへの読み聞かせとして、朝の集い、午睡前・延長保育前の他、保育参観や行事等で親子と一緒に読み聞かせを楽しむ機会を作ることができました。(幼稚園・保育園)
- ⑦ 読み聞かせボランティアとの連携として、朝の読書の時間や読書月間に、保護者等を中心とした読み聞かせが行われました。(小学校・中学校)

- ⑧ 司書・司書教諭を中心に各学校創意工夫を凝らした読書月間の取組が行われ、学校全体で読書する雰囲気づくりにつなぐことができました。(小学校・中学校)

- ⑨ 読書感想文・感想画の取組が行われ、本の楽しさやすばらしさを絵や文章で表現し、代表作は中頭や県のコンクールをへて、西日本のコンクールへ出品することができました。
(小学校・中学校)

3. 第一次推進計画期間における取組の課題

一方で、第一次推進計画期間において、以下のような課題が見られました。

- ① 家庭・地域へのはたらきかけとして、家庭における読み聞かせや、ノーメディアデー導入の呼びかけ、読み聞かせボランティア団体への支援等が弱かったため、積極的に働きかける必要があります。(生涯学習課・指導課)

- ② 図書館分館建設等の検討について、昨今の財政状況を踏まえた、実現可能な施策の調査研究を行う必要があります。(市民図書館)

- ③ 計画の効果的な推進のための進捗管理や、普及・啓発活動が弱かったため、積極的に取り組む必要があります。(生涯学習課・市民図書館・指導課)

4. 計画の目的

本計画は、国や県をはじめ庁内で策定された基本計画等を策定の基本に据え、第一次推進計画の取組・成果と課題を把握し、各部署で実施されている子どもの読書活動を推進するための様々な施策の基本的な考え方や事業の方向性を明らかにします。そして、子どもの読書活動の推進に関する事業を体系的に整理することで、引き続き、子どもたちが読書の楽しさに気づき、自ら進んで本を読みたくなるような環境を、家庭・地域、学校、行政など社会全体で作り上げることを目的とします。

5. 計画の目標

前述の計画の目的を踏まえ、以下の目標を定め、計画を推進していきます。

(1) 読書活動の環境づくり

乳幼児期から読書環境を充実させることで、子どもが読書の楽しさに気づき、自ら進んで本を読みたくなるような環境づくりに努めます。

(2) 読書に親しむ機会の提供と充実

子どもに読書の喜びや楽しさを味あわせるために、発達段階に応じて読書に親しむ機会の提供と充実に努めます。

(3) 子どもの読書活動に関する啓発・広報

子どもが自主的に読書に親しむようにするためには、身近な大人が読書活動に関心を持つことが重要です。読書活動の意義や重要性について啓発・広報を図り、社会全体で読書活動を推進する気運を高めます。

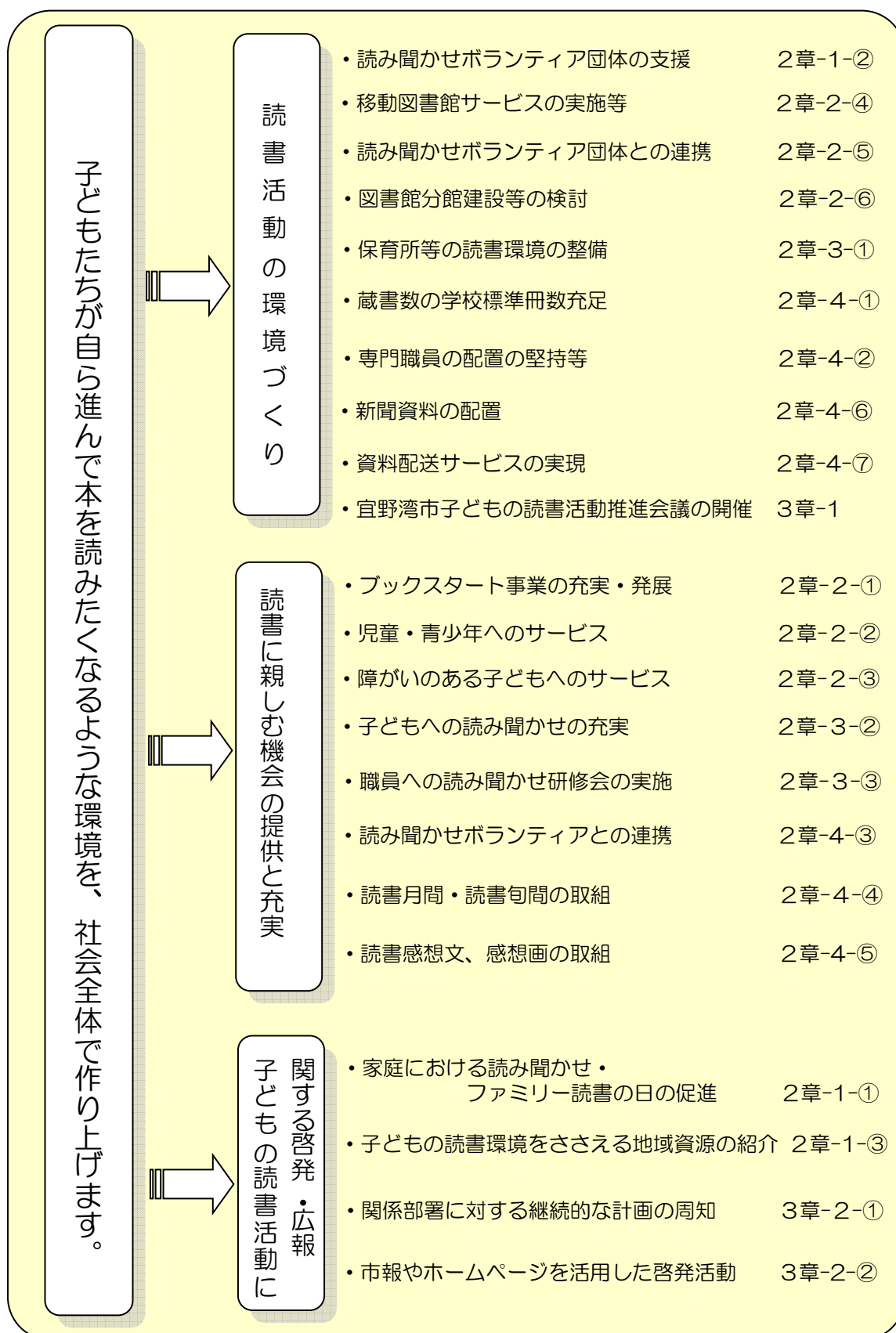
6. 計画の期間

本計画は、子どもの読書活動の推進に関する法律をはじめ、国や県が定める子どもの読書活動に関する諸計画や、本市の上位計画(第四次宜野湾市総合計画)を受け、平成31年度(2019年度)から2024年度までの6年間を計画期間と設定いたしました。

ただし、社会情勢の変化や、計画の進捗状況等により、計画内容と現状に乖離が見られる場合等には、必要に応じて見直しを行います。

| 西暦 | 2002 | 2003 | 2004 | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 |
|----|--------------------------------|------|------|-------------|------|------|------|------|---------|------|------|-------------------------------|--|---------|---------|--------------|------|------|------|------|------|------|------|
| 国 | 子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(第一次基本計画) | | | 第二次基本計画 | | | | | 第三次基本計画 | | | | | 第四次基本計画 | | | | | | | | | |
| 県 | 沖縄県子どもの読書活動推進計画(第一次計画) | | | 第二次計画 | | | | | 第三次計画 | | | | | 第四次計画 | | | | | | | | | |
| 市 | 第二次総合計画 | | | 第三次宜野湾市総合計画 | | | | | | | | | 第四次宜野湾市総合計画 17~20前期基本計画、21~24後期基本計画 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 宜野湾市教育振興基本計画 | | 次期計画 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | 宜野湾市子どもの読書活動推進計画 (第一次推進計画) | | | 第二次推進計画 | | | | | | | | |

7. 子どもの読書活動推進計画 体系図



第2章 読書活動推進のための取組

第2章 読書活動推進のための取組

1. 家庭・地域

【現状と課題】

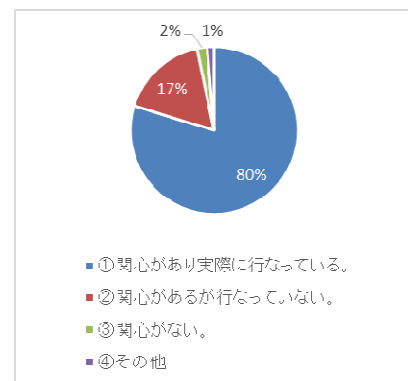
子どもの読書習慣は、家庭や地域における日常の生活習慣を通して形成されるため、読書が生活の中に位置付けられると同時に継続して行われるよう、親が配慮していくことが必要です。特に乳幼児期からの読み聞かせは、読書の習慣を形成するだけでなく、親子のコミュニケーションを深める上でもとても重要です。

このため、家庭においては、読み聞かせをしたり、子どもと一緒に本を読んだり、図書館に出向いたりといった、保護者とともに読書に親しむ時間や、読書を通じてお互いが感じたことや考えたことを話し合うなど、暮らしの中に自然と読書の時間が溶け込んでいる環境づくりが大切になります。

本市における保護者の家庭での読み聞かせの現状についてみると、未就学児の保護者アンケートの結果では、80%が「読み聞かせに関心があり実際に行なっている」ことが分かりました。

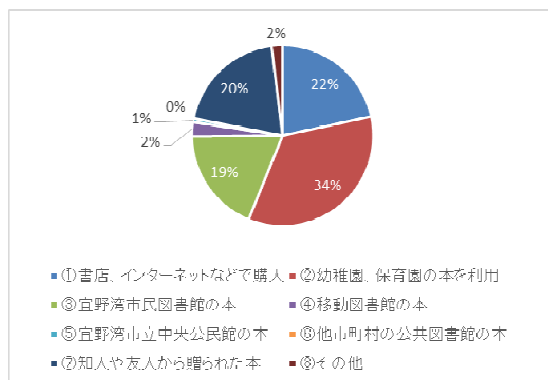
前回の調査(76.7%)でもほぼ同様の回答が得られており、多くの家庭で読み聞かせに関心を持ち、実際に行っていると言えます。

対象:未就学児保護者

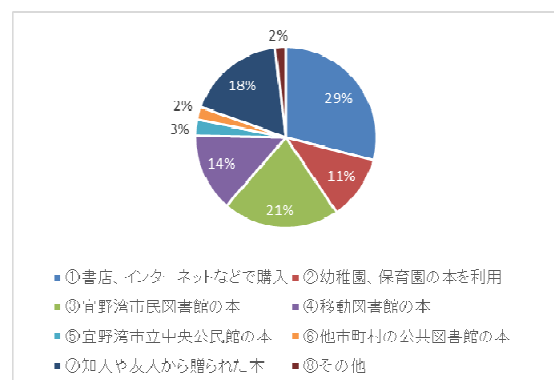


次に、読み聞かせの際に利用している本の入手状況について、未就学児の保護者は、「幼稚園・保育園の利用」が最も多いが、小学生の保護者は、「書店、インターネットなど」で購入の割合が最も高く、また全年代とも一定の割合で「知人や友人から贈られた本」という回答があるように、本を購入する機会があるため、本の選書の仕方について、これまで同様大切な活動と考えられます。

対象:未就学児保護者

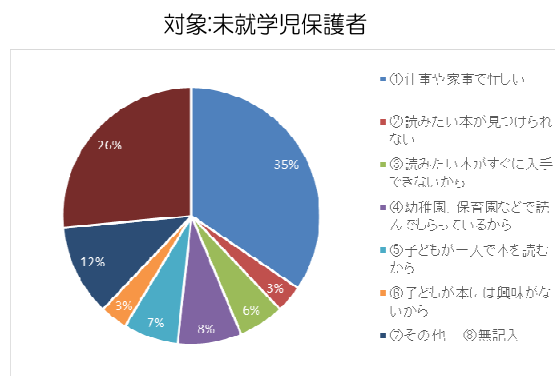


対象:小学生保護者



また、読み聞かせを行っていないと回答した保護者についても、前回調査と同様、仕事や家事で忙しいという割合が高くなっており、保護者の多忙ぶりが分かる結果となっています。

(小学生保護者でも同様傾向)



さて、第一次推進計画期間中に取組が弱く課題となっていたノーマディアデーの導入については、情報機器等に触れないという「ノーマディアの視点」は尊重しつつ、子どもたちの健全育成に欠かすことの出来ない、家族とのふれあいをとおした家族ぐるみで読書を楽しむ「ファミリー読書の日」の促進に取り組む必要があると考えました。しかし、アンケート結果等からも分かるように、保護者の多忙感もあるため、「ファミリー読書の日」を推進するためには、地域社会全体で読書活動に取り組む気運づくりが求められます。

地域においては、子どもの読書活動を支援する推進者として、引き続き保護者を中心とした読み聞かせのボランティア団体の方々の役割が大きく期待されています。現在も学校、市民図書館等で多くの団体が活動していますが、読み聞かせのボランティア活動を行っている方々が、必要に応じて情報交換が行える場作りが望まれます。

そして、前回計画において課題となった読み聞かせボランティア団体間の連携に関しては、ニーズに応じた支援の対策と、読み聞かせボランティア団体の活動の周知に努めることで、団体への支援に取り組む必要が考えられます。

【今後の取組】

①家庭における読み聞かせ・ファミリー読書の日(の促進 (生涯学習課)

- ・市報、ホームページ等を活用し、「子ども読書の日」(4月23日)や「読書週間」、(10月27日から11月9日)ファミリー読書の日(毎月第3日曜日)等の周知を図るとともに、家庭での読み聞かせへの啓発活動を推進します。

②読み聞かせボランティア団体の支援等

(生涯学習課)

- ・求めに応じた読み聞かせボランティアを対象とした情報交換の開催や、読み聞かせ指導員の活躍の場づくりに努めます。

読み聞かせ指導員による保育参観での読み聞かせの様子



③子どもの読書環境をささえる地域資源の紹介（生涯学習課）

- ・宜野湾市立中央公民館や、児童センター、子育て支援センター等、子どもが読書に親しむことのできる施設や取組の広報に努めます。

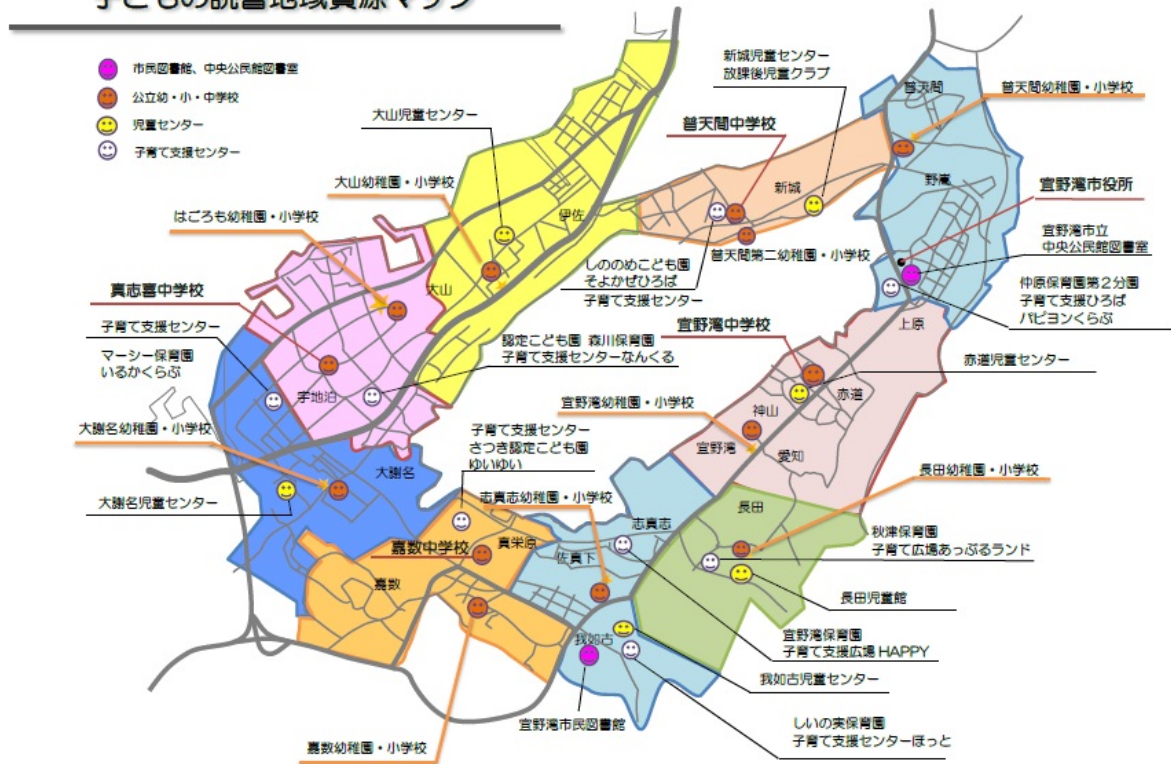


宜野湾市立中央公民館図書室



児童センター図書室

子どもの読書地域資源マップ



2. 市民図書館

【現状と課題】

第一次推進計画の取組状況として、ブックスタート事業については参加率 95%以上を維持しており、ブックリストの配布も行っています。

児童・青少年へのサービスの取組は、読み聞かせボランティアの養成講座を実施し、その活動の場となるおはなし会の回数も増やしています。

また、赤ちゃんタイムを実施し小さなお子様連れでも来館しやすい環境づくりに努めました。対象年齢別のおはなし会の実施については、赤ちゃんタイムを設けることで実施しています。

テーマ別展示やおすすめ本コーナー、時季の本コーナーも設けており、適宜入れ換えも行っています。また、対象年齢別のコーナーについては児童コーナー奥の“おはなしのくに”に乳幼児対象の資料コーナーを設けています。

移動図書館の活用については市内の全小学校(公立)への巡回を実施し、巡回ステーションは 25 カ所となっています。

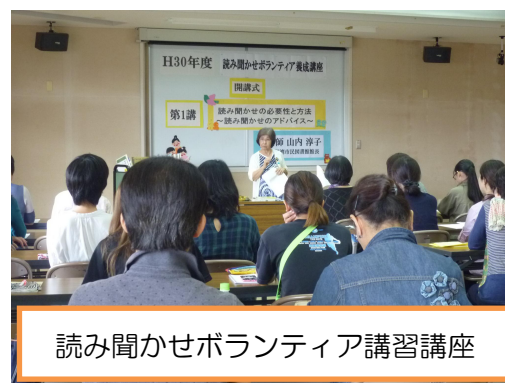
下の表の市民図書館の登録利用者の割合をみると、児童生徒は小学生未満(6歳以下)5%、小学生(1～3年/7～9)9%、小学生(4～6年/10-12)9%、中学生(13-15)は6%、高校生(16-18)は3%となっています。

(※2018年 11月時点、有効利用者数の内訳)

| | | | | | | | |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 年齢 | 6歳以下 | 7-9 | 10-12 | 13-15 | 16-18 | 19-22 | 23-29 |
| 人数 | 1,167人 | 2,296人 | 2,238人 | 1,405人 | 771人 | 1,022人 | 1,712人 |
| 利用率% | 5% | 9% | 9% | 6% | 3% | 4% | 7% |
| 年齢 | 30-39 | 40-49 | 50-59 | 60-69 | 70歳以上 | 年齢なし | 団体 |
| 人数 | 3,740人 | 4,285人 | 2,289人 | 2,151人 | 1,328人 | 6人 | 125 |
| 利用率 | 15% | 17% | 9% | 9% | 5% | 0% | 1% |



ブックスタート事業



読み聞かせボランティア講習講座



おもしろ絵本展

移動図書館が公立の全小学校へ巡回していることもあり、小学生は学年が上がっても市民図書

館の利用登録率を維持していますが、年齢が上がるにつれ利用登録率が落ちていきます。アンケートでも学年が上がるにつれ読書離れの傾向がみてとれますが、市民図書館の利用登録率でも裏づけされた形となっています。

児童へのアンケートの回答をみると「市民図書館を利用しない理由」として“場所が遠い（不便）”の割合がどの学校でも高いことがわかります。

また、「何のために市民図書館へ行きますか」のその他の欄には“DVDをみる”や“雑誌を借りる”などの回答があり学校図書館にはない資料への要求があることがわかります。

アンケートの回答では学校図書館はよく利用されていますが、「学校図書館へ行かない理由」として“読みたい本がない”も選ばれている事や、「どんなイベントがあれば図書館へ行くか」の回答では“貸出冊数の増”や“貸出禁止の本が借りられる”、“本がもらえる”などの記述も多く子どもたちの本への関心が高いことがうかがえます。

これをふまえ市民図書館では「学校図書館を利用できない6歳以下と利用が落ち込む中学生・高校生をどうサポートしていくか」、「場所が遠くて利用できない子どもへどうサポートするか」、「学校図書館の資料だけでは満足できない子どもをどうサポートするか」が課題と考えます。

【今後の取組】

上の課題解決のため移動図書館の活用や、資料の配送サービスの検討など学校との連携を強化し、読みたい本が児童・生徒の近くにある環境整備に努めます。

読書習慣を定着させるためにも就学前に本に慣れ親しむことは重要であり、ブックスタートの継続とボランティアを活用したおはなし会の実施を引き続き行います。

また、生徒によるビブリオバトル^{※1}の実施や職場体験の積極的な受け入れ、中学生・高校生向けのパスファインダー^{※2}の作成など、図書館サービスや図書館にある資料を生徒に知ってもらう取組を行います。

① ブックスタートの継続と充実（市民図書館）

- ・読書習慣を定着させるためにも就学前に本に慣れ親しむことは重要であり、ブックスタートの継続やその後の絵本選定の参考になるようなブックリストの配布、赤ちゃんタイムの実施やおはなし会などその後のフォローアップに努めます。

② 児童・青少年へのサービス（市民図書館）

- ・学校図書館との連携を図り、資料の配送サービス、団体貸出の実施や教科関連資料の提供、レファレンスを支援します。
- ・ビブリオバトルの実施や職場体験の積極的な受け入れ、中学生・高校生向けのパスファインダーの作成など図書館の利用を促進する取組を行います。

※1 ビブリオバトル：複数名があつまってオススメ本を5分で紹介しどの本が一番読みたくなったかを投票で決めるイベント

※2 パスファインダー：特定のテーマに関する資料や調べ方・探し方を紹介したもの

第2章 読書活動推進のための取組

③ 障がいのある子どもへのサービス（市民図書館）

- ・大活字本、録音図書、点訳図書等の資料を整備し利用の促進を図ります。

④ 移動図書館サービス（市民図書館）

- ・移動図書館を活用し学校や公民館・児童館等との連携を強化し、読みたい本が児童・生徒の近くにある環境整備に努めます。

⑤ 読み聞かせボランティアの活用（市民図書館）

- ・ボランティアが実施する読書活動を支援します。
- ・読み聞かせボランティア養成講座を実施し活動の場を提供します。

⑥ 図書館分館等の検討（市民図書館）

- ・いつでも、どこでも、だれでも利用できる図書館サービス実現のため、図書館分館建設及び他の施設を利用したミニ分館化等を検討します。

【平成31年3月現在 移動図書館巡回地図】

①長田区公民館

②宜野湾小学校

③愛知県公民館

④福寿園

⑤海邦銀行普天間支店

⑥野嵩霊園駐車場

⑦普天間カトリック教会

⑧普天間小学校

⑨サンフティーマ

⑩普天間第二小学校

⑪新城区公民館

⑫ユニオン新城店

⑬PIA おきなわ

⑭大山小学校

⑮大山区公民館

⑯はごろも小学校

⑰真志喜区公民館

⑱宜野湾市立グラウンド

⑲さんだん花ガーデン

⑳大謝名小学校

㉑上大謝名公民館

㉒嘉数区公民館

㉓嘉数小学校

㉔志真志小学校

㉕長田小学校



3. 幼稚園、保育所、認定こども園

【現状と課題】

乳幼児期は子どもにとって生涯にわたる人間形成の基礎を培う、きわめて重要な時期にあります。この時期は急速な発達段階にあり、好奇心、想像力、思考力などの高まりや、豊かな感性を育むことが期待されます。そのために、乳幼児期の物語や絵本と親しむ環境づくりは極めて重要な役割を担っています。また、家庭での絵本の読み聞かせは、親子の絆の深まりにも寄与します。

幼稚園、保育所、認定こども園では、幼稚園教育要領及び保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、絵本や物語に親しみ、興味を持って聞いたりすることができるように活動の充実と環境の整備に取り組んでいます。また、友達と一緒に絵本を見たりすることで、みんなで、同じ世界を共有する楽しさや心を通わせ一体感を味わい、集団としての育ちにも繋がっていきます。

環境の整備として、子どもが絵本を目にしやすく、手に取りたくるように、絵本を展示する場所を工夫しています。子どもの動線を考えて、玄関の近い場所に絵本コーナーを設けたり※1、制作コーナーの近くに絵本を置いて、イメージしたことを作ったり、生活に取り入れることができるようにしています。また、絵本の物語の世界に入ることができるように、静かに読める場所づくりをしています。そして、子どもが探したい本が見つけやすいように、本棚を色分けしたり、表示を分かりやすくしています。※2

絵本に親しむ環境づくり



※1 幼稚園/絵本コーナー



幼稚園/季節のおすすめ絵本コーナー



※2 幼稚園/絵本コーナー



認定こども園/絵本コーナー



保育所/絵本コーナー



保育所/読み聞かせ

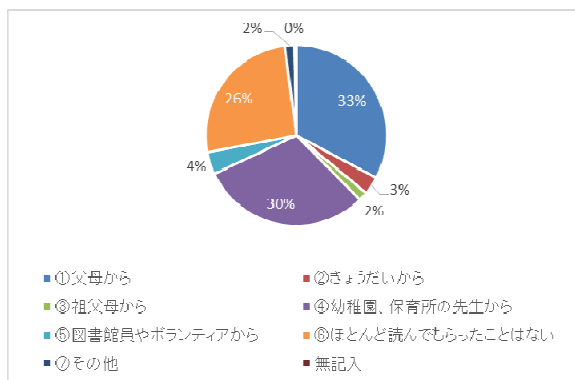
第2章 読書活動推進のための取組

今回行った、幼稚園・小学校の保護者へのアンケート結果によると、どの年代の保護者も幼児期に誰から本を読んでもらったかの回答で「父母から」の次に、「幼稚園、保育所の先生から」と答えています。

幼稚園や保育所での読み聞かせでは、こどもが普段、自分では選ばない種類の絵本に出会うことがあります。友達の興味や関心にあった幅広い分野の絵本にも触れることができるので、子どもの世界を広げ、様々なことを想像する楽しみや不思議さや感動を味わうことも多くなります。

次に、先ほども触れた、読み聞かせのための本の入手先に関するアンケート結果で、小学生の保護者においても、「幼稚園・保育園の本を利用」と応えた人が一定数おりました。このことから、園の本を利用し、きょうだいの読み聞かせにも活用していることが分かり、幼稚園・保育園の絵本の種類を豊富にし、保護者へ良書を紹介したりすることが、家庭での読み聞かせの推進にも繋がると考えられます。

しかし、各園で所有している本の状態が悪く冊数が古く充分でない現状があるため、発達段階に応じた良書の数を増やし、より絵本に親しむための読書環境の改善が望まれます。



【今後の取組】

①読書環境の整備（子育て支援課・学務課・幼稚園・保育所）

- ・絵本コーナーの設置や蔵書の充実など、各園での読書環境の整備に努めます。
- ・市民図書館の団体貸出を利用するなどし、読書環境の充実に努めます。

②子どもへの読み聞かせの充実（幼稚園・保育所）

- ・子どもの発達段階に応じた良書を提供し、状況に応じて保護者への貸出を行います。
絵本を通して親子の絆を深め、絵本に親しむきっかけをつくるため、絵本の読み聞かせを実施します。

③自主的な読み聞かせ研修の実施や、研修会への参加（幼稚園・保育所）

- ・発達段階にあった子どもの絵本との関わり方、絵本の選書や、保育の中での活用についての研修を自主的に行い、研修に積極的に参加することを促します。

4. 小学校・中学校

・学校図書館三つの大きな機能

- ① 「読書センター」として読書活動を推進する。
- ② 「学習センター」として学校の教育課程の展開に寄与する。
- ③ 「情報センター」として多くの情報の中から必要な情報を収集する。

・機能を果たすための指針

- ① 学校司書や教諭を中心に様々な読書イベント等の活動を展開し、発達段階に応じた読書推進のための取組を行う。
- ② 学習指導要領を踏まえた主体的、対話的で深い学び「アクティブラーニング」を充実させるために、豊富な資料の中から自分の力で必要な資料を選び出す能力の育成を目指す。
- ③ 豊富で且つ新鮮な情報が整備された施設を構築していく。

【現状と課題】

平成31年3月現在の小学校の全蔵書冊数は、112,413冊、中学校の全蔵書数は52,997冊。学校標準冊数を達成している学校は小学校で5校、中学校は、全ての学校が達成していません。学校の資料は貸出頻度が高く消耗が早いことも達成率の低い原因にあげられます。十分な資料を継続的に完備するためにも行政の財政支援は不可欠です。



学校図書館の様子

専門的な職員の配置については、すべての小・中学校で司書教諭を任命、さらに学校司書が配置されています。しかし、司書教諭は、学級担任や教科担任と兼務している場合が多く、持ち授業時数との関係で「学校図書館の専門的職務」に従事することが困難な状況もみられます。学校司書は、単なる図書管理や図書購入のみならず、司書教諭・学級担任と協力しながら年間計画に合わせた取組を行っています。



司書研究会選書のよんでおきたい本

今後、学習指導要領をふまえた主体的学び「アクティブラーニング」を充実させるためにも、学校司書の長期的な配置（採用）と資質向上のための研修が重要になってきます。



保護者による読み聞かせスペシャル

各学校では、読み聞かせボランティアを活用し児童生徒の読書意欲を高める工夫を行っており、今後もボランティア団体との連携強化が必要になります。

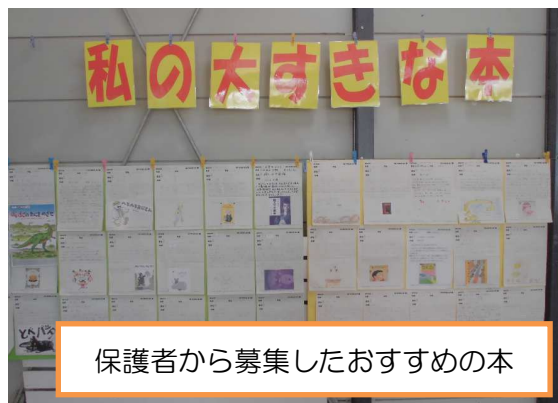
第2章 読書活動推進のための取組

学校行事のひとつとして取組が展開されている「読書月間・読書旬間」は、児童生徒が読書に慣れ親しむ機会として 楽しい読書イベントとなっていますが、教育課程で多忙な児童・生徒、そして、教諭といかに連携を取り計画を遂行していくかが大きな課題にもなっています。

読書感想文・読書感想画コンクールへの参加は、市内の小・中学校において取り組まれており、児童・生徒が良書とめぐり合い 成長する過程を、文や絵に表現することで さらなる心の成長をもたらします。教育活動が中心の学校での取り組みは、教育課程にどう位置づけて進めていくかが重要であり計画的な取組と職員との一体となった活動が望まれます。



図書委員による1年生への読み聞かせ



保護者から募集したおすすめの本



慰霊の日の学年特別読み聞かせ



読書感想画の展示

平成30年の児童・生徒を対象に行ったアンケートの結果によると（資料参照）小学3年生、小学6年生、中学3年生のどの児童・生徒をみても、「読書は好き」「読み聞かせが好き」「読みたい本は、学校図書館から借りる」との回答が多くみられました。

また、知りたいことはどうやって調べますか？の問いに対しては、小学6年生、中学3年生は、「インターネットで調べる」の回答が多いが、小学3年生は「学校図書館で調べる」と回答した児童が大半を占めています。

これらの結果を踏まえても、児童・生徒の読書の拠点为学校図書館であることがわかり、学校図書館の蔵書と機能の充実は、これからの大きな課題だといえます。

資料不足の解消のために、学校間や市民図書館の相互貸借も行っていますが、配送するサービスが整っていないのが現状で、今後のニーズに応えるためには、資料の配送サービスの確立が第一の課題になっています。



【今後の取組】

- ① 蔵書数の学校標準冊数充足（学務課）
 - ・年次的にすべての学校で学校標準冊数を満たすよう努めます。

- ② 専門職員の配置の堅持等（指導課）（小学校・中学校）
 - ・現状の学級担任等が兼務している司書教諭の負担軽減を図るとともに、学校司書の全校配置を堅持します。
 - ・学校司書の研修会での資質向上を目指し、児童・生徒の読書及び学習活動の支援に努めます。

- ③ 読み聞かせボランティアとの連携（小学校・中学校）
 - ・各小学校の読み聞かせボランティアを活用して、児童の読書意欲を高める工夫を行い、家庭への「ファミリー読書」の推進と合わせて相乗効果を図ります。
 - ・4月の「子ども読書の日」の周知徹底や、全国規模の「秋の読書週間」における読書の推奨を継続します。
 - ・中学校では学年を決めて読み聞かせボランティアを活用し、生徒の読書意欲の向上を図ります。

- ④ 読書月間・読書旬間の取組（各学校独自の取組）（小学校・中学校）
 - ・「読んでおきたい本」「先生・保護者のおすすめの本」「読書新聞」などのコーナーを設けて、読書意欲を高める工夫を行います。
 - ・読書標語の募集やクイズ、全校読書朝会、読書会、ブックトーク、図書委員会の読み聞かせ等の学校独自のイベントを行い、児童・生徒が読書に慣れ親しむ機会を通して読書好きな子どもを育てます。
 - ・子ども達がお互いに本を紹介し合うビブリオバトル、読書発表会、本の帯・ポップ製作などの取り組みを行います。

- ⑤ 読書感想文・読書感想画コンクールの実施（小学校・中学校）
 - ・読書感想文・読書感想画コンクールへの参加を小中学校において実施します。

- ⑥ 新聞資料の配置（小学校・中学校）
 - ・NIE教育を展開するための新聞資料を図書館に配置します。

- ⑦ 資料配送サービスの実現（小学校・中学校）（市民図書館）
 - ・市民図書館や学校図書館間の連携を強化するため、資料配送サービスの実現を目指します。

第3章 計画の効果的な推進に向けて

第3章 計画の効果的な推進に向けて

1. 子ども読書活動推進体制の確立

【現状と課題】

第一次推進計画期間においては、「家庭・地域、学校等の読書活動に関わる関係者で組織する機関を設置し、子どもの読書活動に関わる諸課題についての協議や情報交換を行うとともに、本計画の進捗状況の確認を行う」ことを課題として掲げました。平成24年4月に「宜野湾市子どもの読書活動推進会議」を設置しましたが、第一次推進計画期間内の開催が4回に止まっており、十分機能しているとは言い難い状況です。また、具体的な取組に掲げた「読み聞かせボランティア連絡協議会（仮称）の設置」に関しては、平成25年に説明会を開催したものの、設置には至りませんでした。

第二次推進計画期間では、宜野湾市子どもの読書活動推進会議を適時開催し、計画を着実に推進していくことが求められます。読み聞かせボランティア団体間の連携強化に関しては、会議体を設置することが事実上困難であり、ボランティア団体から求められることは、会議体の設置よりも既存ボランティア団体の活動継続に向けた支援であることが見てきたため、本章から削除し、第2章における関連項目を強化することとします。

【今後の取組】

宜野湾市子ども読書活動推進会議の年1回以上の開催（生涯学習課）

- ・本計画を着実に推進するため、市関係組織、学校などで構成する子ども読書活動推進会議を開催し、計画を推進します。

2. 普及・啓発活動

【現状と課題】

第一次推進計画が策定されて7年経過しますが、計画の認知度はかなり低いと思われます。計画は家庭・地域、市民図書館、幼稚園・保育所・認定こども園、小学校・中学校の4つの領域ごとに取り組む施策を掲げていますが、取組の主体となる担当部署が計画を認識しなければ意味をなしません。関係部署及び施設に対し継続して計画を周知していく必要があります。

また、計画の直接的対象である子どもはもちろんのこと、市民に対しても広く計画の内容を周知し、市全体で子どもの読書活動の推進について気運を醸成していくことが望まれます。

【今後の取組】

①関係部署に対する継続的な計画の周知（生涯学習課）

- ・人事異動等に配慮し、年に一回以上計画の推進に関する通知を行います。

②市報やホームページ、各種掲示物等を活用した啓発活動（生涯学習課）

- ・市報やホームページ、ポスター等を活用し、計画について市民への周知に努めます。（担当課等：生涯学習課）

参 考 資 料

| | |
|------------------------------|----|
| 1. アンケート | 1 |
| 2. 宜野湾市子どもの読書活動推進計画策定委員会設置要綱 | 17 |
| 3. 第二次宜野湾市子どもの読書活動推進計画策定委員名簿 | 19 |
| 4. 第二次宜野湾市子どもの読書活動推進計画の策定過程 | 20 |
| 5. 宜野湾市社会教育委員会議における委員の意見等 | 21 |
| 6. 子どもの読書活動に関する法律 | 23 |

宜野湾市子どもの読書アンケート概要

1.調査目的

宜野湾市の子どもたちと、その子どもたちを取り巻く現状把握を行い、「第二次宜野湾市子どもの読書活動推進計画」策定に向けた資料とする。

2.調査対象

宜野湾市内9市立幼稚園、9市立小学校、4市立中学校

3.調査期間

平成30年11月1日～平成30年11月9日

4.回収結果

◎児童生徒

各学校1学級

| | 全市立小学3年生 | 全市立小学6年生 | 全市立中学3年生 | 計 |
|------|----------|----------|----------|------|
| 対象者数 | 265人 | 279人 | 132人 | 676人 |
| 回答者数 | 265人 | 279人 | 132人 | 676人 |
| 回収率 | 100% | 100% | 100% | 100% |

◎保護者

各学校1学級

| | 全市立幼稚園5歳児 | 全市立小学3年生 | 全市立小学6年生 | 計 |
|------|-----------|----------|----------|------|
| 対象者数 | 282人 | 265人 | 279人 | 826人 |
| 回答者数 | 169人 | 214人 | 195人 | 578人 |
| 回収率 | 60% | 81% | 70% | 70% |

※幼稚園は園によって2クラス協力

子どもの読書アンケート

〇〇小/中学校
〇年 児童/生徒

児童生徒のみなさんへ

本を読むことは、ことばを学び、表現力を高め、自分で考えて新しいものを作り出す力を豊かにし、人生をより楽しく生きるための力を身に付けることにつながります。そのため宜野湾市では、みなさんが自分からすすんで楽しく読書ができるように計画づくりに取り組んでいます。

そこで、みなさんの意見をこの計画に取り入れるため、アンケート調査をおこなうことになりましたので、アンケートへの協力をお願いします。

平成30年10月31日

宜野湾市教育委員会 教育長 知念 春美

各質問の、あてはまる方の番号に〇をつけてください。〇の数にきまりがある場合は、() 内に書かれた数までの〇をつけてください。

問1 あなたは本を読むことが好きですか？

- ① とても好き ② まあまあ好き ③ あまり好きではない ④ 嫌い

問2 あなたはどんな本を読むのが好きですか？(〇は2つまで)

- ① 辞典や図鑑 ② 歴史や地理・社会 ③ 理科 ④ スポーツや音楽・クイズ
⑤ 物語や絵本 ⑦ その他()

問3 あなたは本を読むときは、どこで読んでいますか？ (〇はいくつでも)

- ① 学校(教室や図書館) ② 家 ③ 市民図書館 ④ 児童センター
⑤ その他()

問4 あなたはこの1か月間、何冊くらい本を読みましたか？

- ① 6冊以上 ② 3～5冊 ③ 1～2冊 ④ 読まなかった

問5 あなたは学校の図書館にどれくらい行っていますか？

- ① 毎日行く ② 1週間に2～3回 ③ 1ヶ月に数回
→ ①・②・③に〇をつけた方は、問6へ
④ 1年に数回 ⑤ ほとんど行かない → ④・⑤に〇をつけた方は、問7へ

問6 問5で学校の図書館に行くとき、何のために図書館に行きますか？(〇はいくつでも)

- ① 本をかりるため ② 本を読むため ③ 調べ物をするため ④ 勉強をするため
⑤ その他() →問8へ

問7 問5で学校の図書館に行かないのはなぜですか？

- ① 本を読みたくない ② 読みたい本がない ③ ほかの遊びをしたい
④ 係や委員会で忙しい ⑤ 部活・塾・習い事で忙しい ⑥ 行きたい時間が合わない
⑦ その他()

問8 あなたは市民図書館をどれくらい利用していますか？

- ① 毎日行く ② 1週間に2～3回 ③ 1ヶ月に数回
→ ①・②・③に〇をつけた方は、裏面の問9へ
④ 1年に数回 ⑤ ほとんど行かない
→ ④・⑤に〇をつけた方は、裏面の問10へ

問9 問8で市民図書館に行くとき、何のために図書館に行きますか？(〇はいくつでも)

- ① 本を借りるため ② 本を読むため ③ 調べ物をするため ④ 勉強をするため
⑤ その他() →問11へ

問10 問8で市民図書館にあまり行かないのはなぜですか？

- ① 本を読みたくない ② 読みたい本がない ③ ほかの遊びをしたい
④ 部活・塾・習い事で忙しい ⑤ 場所が遠い(不便)
⑥ その他()

問11 あなたは学校の図書館や市民図書館から借りた本をどうしていますか？

- ① ほとんど読んで返している ② いちぶ読んで返している
③ ほとんど読まずに返している

問12 あなたは読みたい本をどのように手に入れていますか？(〇は3つまで)

- ① 学校の図書館でかりる ② 市民図書館でかりる ③ 移動図書館でかりる
④ 中央公民館図書室でかりる ⑤ 友だちからかりる ⑥ もともと家にあった
⑦ 本屋で買う ⑧ インターネットで買う
⑩ その他()

問13 あなたは知りたいことがあれば、どうやって調べますか？(〇は3つまで)

- ① 学校の図書館で調べる ② 市民図書館で調べる ③ 家の本で調べる
④ 先生に聞く ⑤ 家の人に聞く ⑥ 友達に聞く ⑦ インターネットで調べる
⑧ その他()

問14 あなたは、小さい時からこれまで、おうちの人に読み聞かせをしてもらったことはありますか？

- ① ほぼ毎日読んでもらった ② ときどき読んでもらった
③ ほとんど読んでもらったことはない ④ 覚えていない

問15 あなたは、学校などで本の読み聞かせをしてもらうのは好きですか？

- ① とても好き ② まあまあ好き ③ あまり好きではない ④ きらい

問16 あなたのおうちの方は、本を読んでいますか？

- ① よく読んでいる ② ときどき読んでいる ③ 読まない
④ 分からない(家以外の場所で読んでいるかもしれない)

問17 あなたは、学校の図書館や市民図書館でどんなイベントがあったら参加したいですか？

()

問18 あなたは、どういうふうにしたら本を読みたくなるとおもいますか？

()

問19 あなたは、これまで読んだ本に大好きな本がありますか？よければ名前を教えてください。

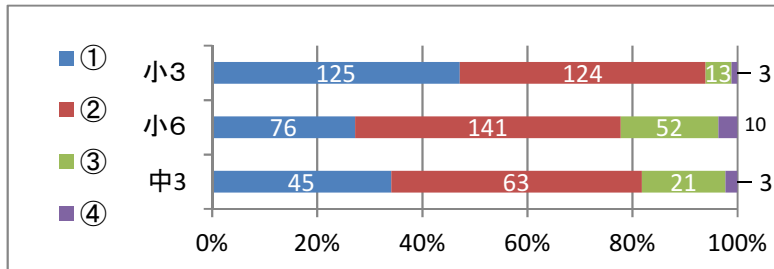
- ① ある(本の名前) ② ない

アンケート集計結果・及び分析

1. 児童・生徒アンケート 小学3年生、6年生、中学3年生

問1.あなたは本を読むことが好きですか。

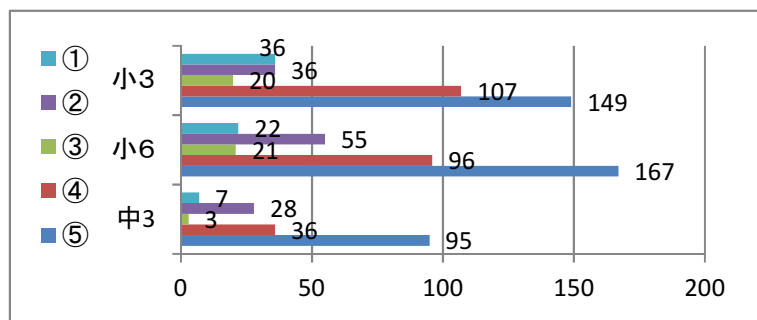
- ①とても好き
- ②まあまあ好き
- ③あまり好きではない
- ④きらい



本を読むことが「とても好き」「まあまあ好き」と回答した子どもが、全体で80%前後占めており、子どもたちの読書好きの傾向がわかる。

問2.あなたはどんな本を読むことが好きですか。(〇は2つまで)

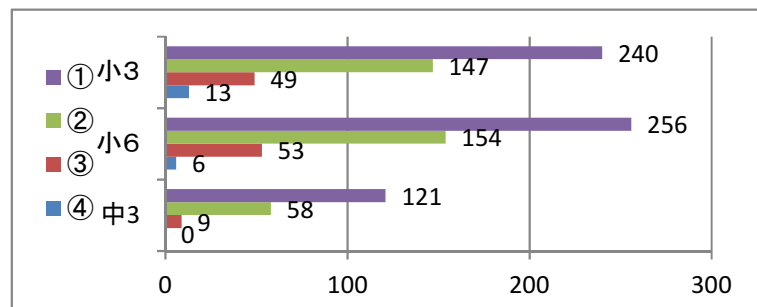
- ①辞典や図鑑
- ②歴史や地理社会
- ③理科
- ④スポーツやクイズ音楽
- ⑤物語や絵本



全年代とも「物語や絵本」、「スポーツやクイズ音楽」を好む傾向がある。また、上の選択肢以外で「まんが」を読むことが好きと回答した児童生徒が多数いた。

問3.あなたは本を読むときは、どこで読んでいますか？

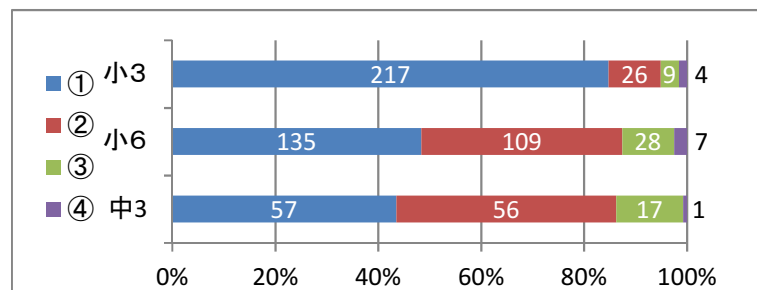
- (〇はいくつでも)
- ①学校(教室や図書館)
- ②家
- ③市民図書館
- ④児童センター



全年代とも本を読む場所は、「学校」「家」の順に回答が高かった。また、上の選択肢以外で「祖父母の家」という回答も見られた。さらに、「車」「合宿の間」「塾」という回答もあり、すき間の時間を見つけて本を読んでいる子どもも見られた。

問4.あなたはこの1か月間、何冊くらい本を読みましたか？

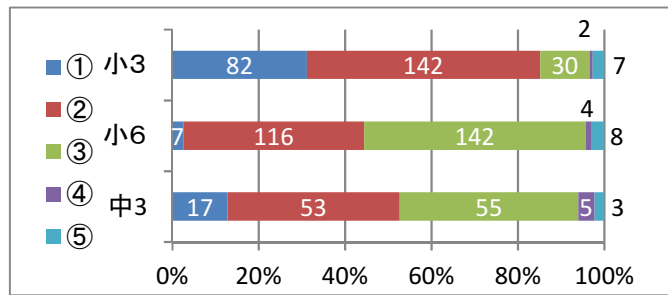
- ①6冊以上
- ②3～5冊
- ③1～2冊
- ④読まなかった



各年代とも「6冊以上」本を読んでいる割合が高く、「3冊以上」本を読んでいる子どもたちを含めると、それぞれ90%近くにのぼるため、あらためて子どもたちの読書好きの傾向がわかる。

問5. あなたは学校の図書館をどれくらい利用していますか？

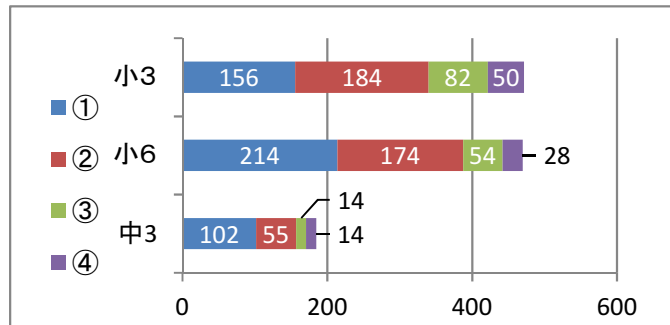
- ①毎日行く
- ②1週間に2～3回
- ③1ヶ月に数回
- ④1年に数回
- ⑤ほとんど行かない



①～③の「毎日行く」「1週間に2～3回」「1ヶ月に数回」を合わせると、各年代とも90%を超える子どもたちが学校図書館を利用している状況がわかる。

問6.問5で学校の図書館に行くとき、何のために図書館に行きますか？

- (〇はいくつでも)
- ①本を借りるため
 - ②本を読むため
 - ③調べ物をするため
 - ④勉強をするため

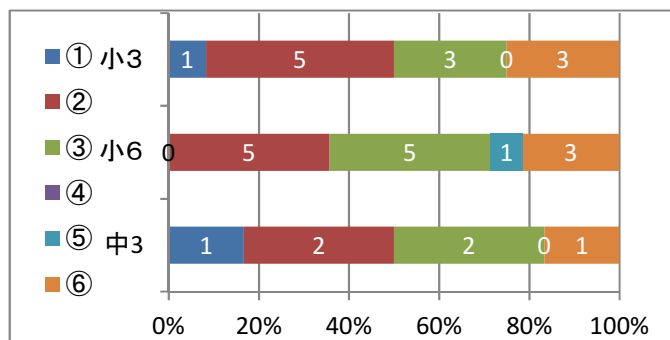


どの年代も、図書館へ行く目的は、

本を借りたり・読んだり・調べたりするためということがわかり、子どもたちのニーズに対応するため、学校図書館の機能を充実させることは早急な課題と言える。

問7. 問5で学校の図書館に行かないのは、なぜですか？

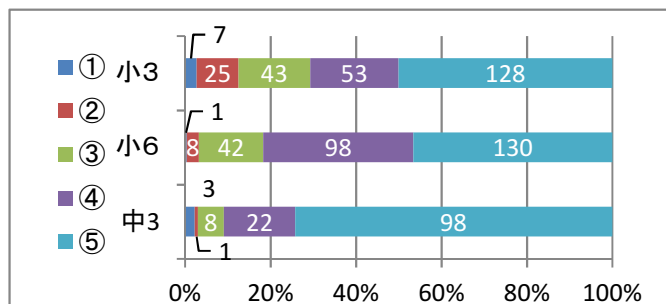
- ①本を読みたくない
- ②読みたい本がない
- ③ほかの遊びをしたい
- ④係や委員会で忙しい
- ⑤部活・塾・習い事で忙しい
- ⑥行きたい時間が合わない



どの年代も、「読みたい本がない」やほかに用事等があって忙しいという回答が多かった。そのため、学校図書館の蔵書充実が求められていることがわかる。

問8. あなたは市民図書館をどれくらい利用していますか？

- ①毎日行く
- ②1週間に2～3回
- ③1ヶ月に数回
- ④1年に数回
- ⑤ほとんど行かない

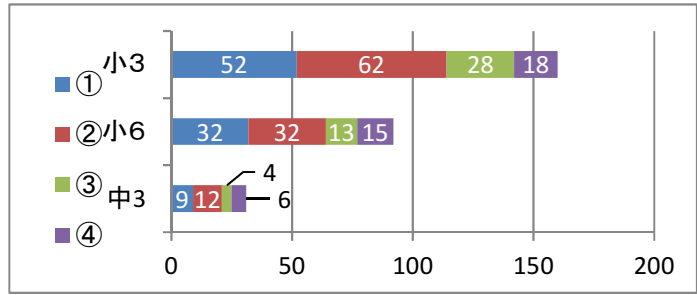


全体的に市民図書館の利用状況は少ない傾向にあるが、おそらく学校図書館を利用することで、読書に関する機会を確保していると考えられる。

アンケート集計結果・及び分析

問9. 問8で市民図書館に行くとき、
何のために図書館に行きますか？

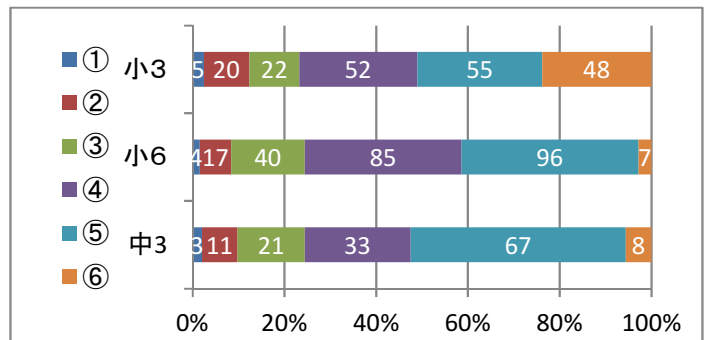
- (〇はいくつでも)
 ①本を借りるため
 ②本を読むため
 ③調べ物をするため
 ④勉強をするため



どの年代も、「本を読むため」の回答が多いが、その他として、DVDを見に行くや、雑誌を借りに行くという子どもたちもあり、学校図書館では借りることのできない資料を求めていることがわかる。

問10.問8で市民図書館にあまり
行かないのはなぜですか？

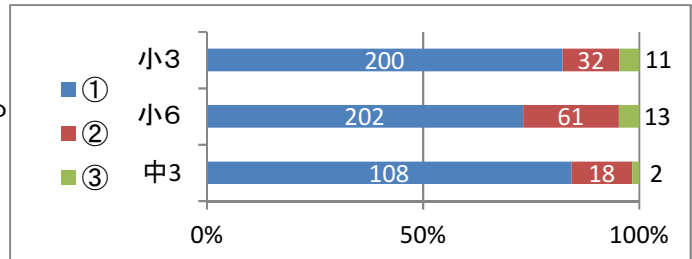
- ①本を読みたくない
 ②読みたい本がない
 ③ほかの遊びをしたい
 ④部活・塾・習い事で忙しい
 ⑤場所が遠い(不便)
 ⑥その他



各年代とも、「場所が遠い」という回答が多く、子どもの足で通える範囲でなければ遠いと判断していることがわかる。

問11. あなたは学校の図書館や市民図書館から借りた本をどうしていますか？

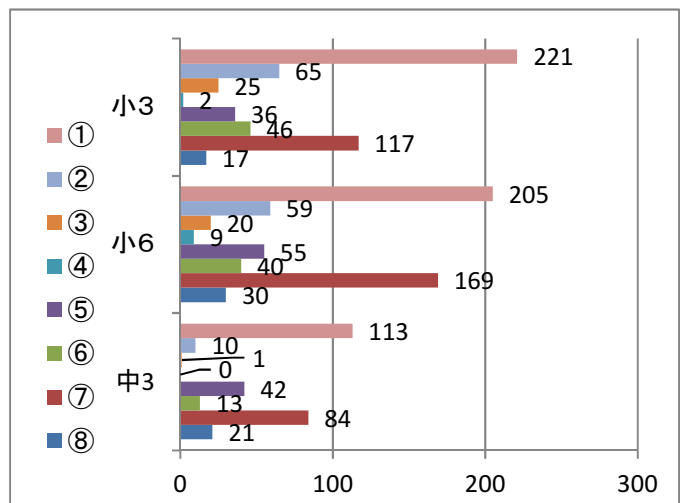
- ①ほとんど読んで返している
 ②いちぶ読んで返している
 ③ほとんど読まずに返している



各年代とも、ほとんどの子どもが、借りた本を読んでいることがわかる。

問12.あなたは読みたい本をどのように
手に入れていきますか？

- (〇は3つまで)
 ①学校の図書館で借りる
 ②市民図書館で借りる
 ③移動図書館で借りる
 ④中央公民館図書室で借りる
 ⑤友達から借りる
 ⑥もともと家にあった
 ⑦本屋で買う
 ⑧インターネットで買う

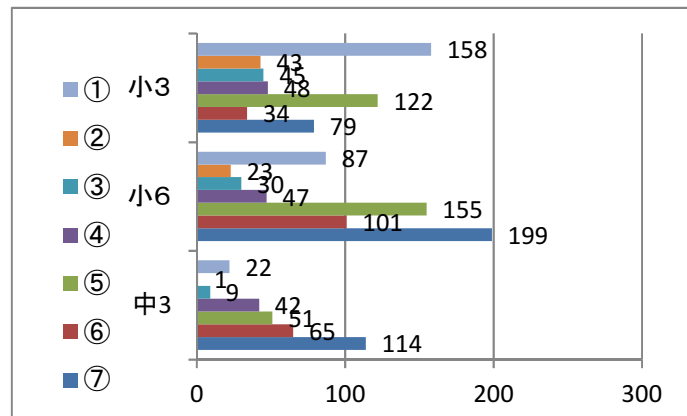


どの年代とも、「学校の図書館で借りる」が高く、次に「本屋で買う」という傾向がわかる。小学校では移動図書館が巡回しているため、市民図書館や移動図書館の利用状況が高くなっていることがわかる。

問13. あなたは知りたいことがあればどうやって調べますか？

(〇は3つまで)

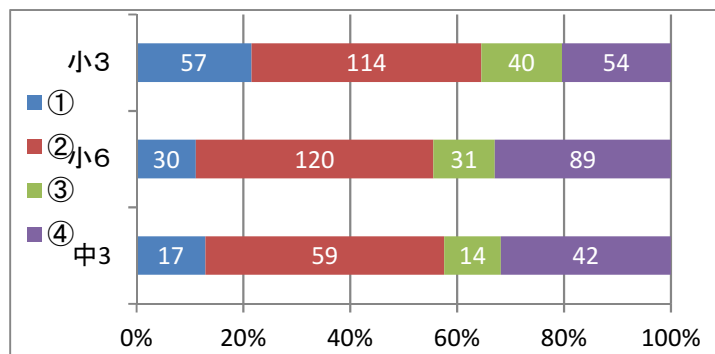
- ①学校の図書館で調べる
- ②市民図書館で調べる
- ③家の本で調べる
- ④先生に聞く
- ⑤家の人に聞く
- ⑥友達に聞く
- ⑦インターネットで調べる



年代が低い程、自分の足で行くことのできる「学校の図書館で調べる」が多く、年代が上がるほど「インターネットで調べる」が高くなり、情報端末の利用が身近であることがわかる。

問14. あなたは小さい時からこれまで、おうちの人に読み聞かせをもらったことはありますか？

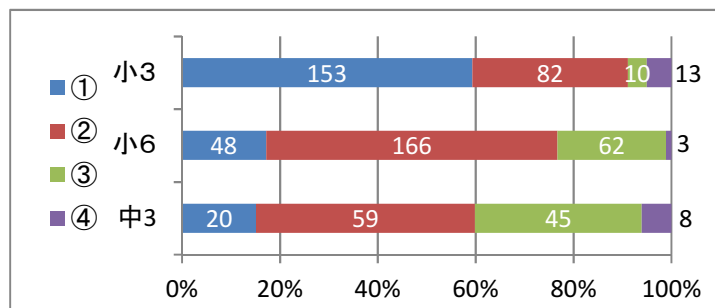
- ①ほぼ毎日読んでもらった
- ②ときどき読んでもらった
- ③ほとんど読んでもらったことはない
- ④覚えていない



各年代とも、「ほぼ毎日読んでもらった」「ときどき読んでもらった」の回答が60%前後と高く、家庭の読み聞かせに対する意欲の高さがわかる。

問15. あなたは、学校などで本の読み聞かせをしてもらうのは好きですか？

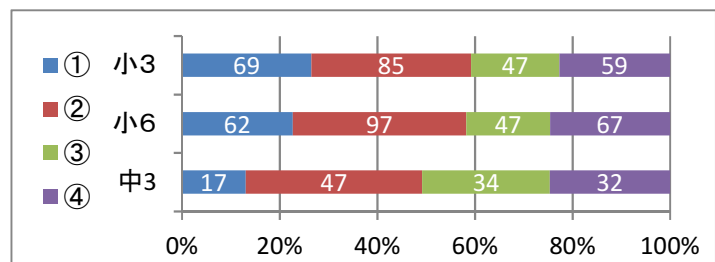
- ①とても好き
- ②まあまあ好き
- ③あまり好きではない
- ④嫌い



各年代とも、「とても好き」「まあまあ好き」の回答が60%以上を占めており、読み聞かせが好きということがわかる。一方、中学3年生では、4割の子どもたちが否定的な意見を持っている。

問16. あなたのおうちの人、本を読んでいますか？

- ①よく読んでいる
- ②ときどき読んでいる
- ③読まない
- ④分からない



各年代とも、「よく読んでいる」「ときどき読んでいる」の回答が50%前後ある。一方、保護者の読書の様子が見えていない子どもたちも50%近くいることもわかる。

アンケート集計結果・及び分析

問17.あなたは、学校の図書館や市民図書館でどんなイベントがあったら参加したいですか？

- 本がたくさん借りられる ・ 普段借りられない本が借りられる ・ 図書券がもらえる
- 本がもらえる ・ 本をたくさん借りたら本がもらえる ・ しおりがもらえる
- クイズ大会 ・ お茶会 ・ くじびき ・ ビンゴ大会
- 絵本作り ・ しおり作り ・ 工作 ・ スイーツ作り ・ 化学実験
- サイン会 ・ まんが読み放題

問18.あなたは、どういうふうにしたら本を読みたくなるとおもいますか？

- 先生や友達に紹介してもらおう ・ 読み聞かせ ・ 本を読む時間をつくる
- 本屋みたいにポップをつくる ・ ほんのあらすじをマンガで紹介 ・ マンガを図書館におく
- 図書館以外の教室などもっと身近なところに本をおく

問19.あなたは、これまで読んだ本に大好きな本がありますか？

よければ名前を教えてください。 →9ページ参照

問19. あなたはこれまで読んだ本に大好きな本がありますか？小学3年生

50音順(記入どおりに転記)

| | | |
|-------------------------|---------------------------|-----------------------|
| 100かいだての家 | しょうぎの本 | レーナ・マリア |
| 10びきのかえる | しりとりライオン | 歴史シリーズ |
| 11びきの猫シリーズ | 人体のサバイバル | 和楽器の世界 |
| 14匹のねずみシリーズ | しんちゃん | わかったさしシリーズ |
| 青のエクソシスト | シンドバッドの冒険 | わすれた |
| あなぐま、わたしはあかねこ | すーべり | わすれられないおくりもの |
| あなぐまアパート | ずっとずっといっしょだよ | わたしの1ばんあのこのいちばん |
| アナグマのもちよりパーティー | すていぬみらい | わらいねこ、オウガマキがくえん、とりしあ、 |
| あらしをよぶ名探偵 | すべりだい | わらいねこの5分間かいだん |
| あるかしら書店 | スポーツの本(バスケット) | ワンパンマン(マンガ) |
| あろはパンケーキ | スポーツの本とか | |
| アンパンマン | スポーツや釣りの本 | |
| いきもの図鑑シリーズ | 世界の国々 | |
| 戦田合戦 | せんざいのうりよくテストこうしき問題集 | |
| いご入門 かくめい | せんせいマツアオ・こわーい話 | |
| いじめ・ぜつきょう学級 | ぞくぞく村シリーズ | |
| いちにちばんだ | ダイナソーパニックきょうりゅうキングが現れる | |
| ウィオン王子とトラ | 宝島 | |
| ウォーリーをさがせ! | 食べもの | |
| うるさいアパート | 食べものの本 | |
| うんこダスマンとへんな生き物 | ダメよデイビット | |
| うんこのたつじん | ちょっとだけ | |
| うんちしたのはだれよ! | つぶやきたい | |
| 英語の本 | つり入門 | |
| えのないえほん | つりの本 | |
| エントツ町のプペル | デルトラ・クエスト | |
| オオカマキリ | でんきれきしものがたり | |
| お母さんだいすきだよ | どうぶつの赤ちゃんシリーズ | |
| おかねのこと | ドキドキどっち | |
| おかん | 時をかけるしょうじょ | |
| おしりたんてい シリーズ | どっちが強い、サバイバル | |
| おだのぶ長 | トム・ソーヤの冒険 | |
| おねえちゃんってもうたいへん | 友達関係の考え方の違い | |
| おねがいフェアリー | ドラゴンボール、野球 | |
| おばあタイムス1 | とりしあ | |
| おばけのバケロンシリーズ | 名たんてい | |
| おばけまんしょん | なぞなぞ小学校 | |
| おばけやさん | ナッカシリーズ | |
| おまふうまそうだな | ナッカのおばけじけんぼシリーズ | |
| オリンピックのおばけずかん | ニック・シャドウの真夜中の図書館 血ぬられた砂はま | |
| かいけつゾロリ シリーズ | にんきものひけつ | |
| かぜのでんわ | ねこのかんごしらてい | |
| 学校では教えてくれない大切なことシリーズ | ねこもふでらっくす | |
| かていかしつのにちようび | バムとケロシリーズ | |
| ギネス2019 | ハリー・ポッター | |
| ぎのわんのちけい | パンダせんとう | |
| キャベたまたんてい | パンツマン | |
| ぎょうれつのできるケーキ屋さん | 光とともに・・・(1巻) | |
| きりの向こうの町 | ヒミコ、リリアーネ | |
| クイズ | ファール昆虫記 | |
| 空想科学学園(地球編・エネルギー編) | フラワーエブリディ | |
| ぐりとぐら | フランダースの犬 | |
| グレッグのダメ日記 シリーズ | ヘンゼルとグレーテル | |
| くろまじょさんがとおる。 | ぼくはこうして生きのこった | |
| クワガタの本 | ほねほねザウルスシリーズ | |
| ゲゲゲの鬼太郎シリーズ | 本当にあったコワイ話 | |
| 工具のひみつシリーズ | まかしとき!ひなまつり、にんたまらんたろう | |
| 心をいただく | マジックツリーハウスシリーズ | |
| ことわざの国語じてん | まんが | |
| 小人ずかん | マンガ家入門、マジック入門 | |
| コミック坂世界の伝記 | ミックシリーズ | |
| サッカー | ミルクキーすぎやま | |
| サッカーがうまくなる上と下 | めいじ時代へタイムワープ | |
| サッカーの本 | めいたんていシリーズ | |
| サバイバルシリーズ | もりの図書館、おじいちゃんせんせいだいすき | |
| さるのおいしゃさんとへびのかんごしさん | 野球のヒミツ | |
| ざんねんないきもの辞典 | やさそおたんぼぼ、スーホの馬 | |
| 時間の使いかた | ユーチューバーになるにわ | |
| 時間のめがみのティータイム | 妖怪ホテルの1巻の海の妖怪ホテル | |
| しずかに、ここはどうぶつの図書館 | 理科室の日曜日 | |
| 自分もがっこうも好きになる!13の心のおはなし | りんごかもしれない | |
| しょうぎ | ルルとララのシリーズ | |

問19. あなたはこれまで読んだ本に大好きな本がありますか？小学6年生

50音順(記入どおりに転記)

| | | |
|------------------------|-------------------------|-------------------|
| ” ましょうめん” とぜんぶの本 | ねこ、はじめました | 小学生のひみつ |
| 「ふたり」 | のろいの本 | 松井ひでき |
| 1%、動物とはなせる少女リリアーネ | ノンタン | 信じられない現実の大図かん |
| 12さい | パーシー・ジャクソンとオリンポスの神々 | 新聞入り |
| 5分後シリーズ | バカとテストと召喚獣 | 水は答えを知っている |
| NBAオールスター特集 | はだしのゲン | 世界の歴史 |
| アーチャー・グリーンと魔法図書館 | ハッピーボーイ | 星新一 |
| あいきゅうたんていムー | はなちゃんのみそ汁 | 青い本 |
| あかげのアン | ハニー | 絶体絶命ゲーム |
| アップルパイ食べて元気になあれ | ハリー・ポッターシリーズ | 先生しゅくだいわずれました |
| アノクラッド | パンツマン | 銭天堂 |
| あらしのよるに | ビプリオバトルに挑戦 | 大山加奈・くりはらめぐみ物語 |
| あるかしら書店 | ひみつシリーズ | 探偵が早すぎる |
| アンネ・フランク | ひみつの花便り | 恥知らずのパープルハイズ |
| いっばいあって答えられない | ひめゆり(マンガ) | 超常現象の大百科 |
| いみちえん | ふしぎな国のアリス | 伝記「アンナ・パブロア」 |
| エジソン | ブラックジャック | 伝記のまんがシリーズ |
| エリザベス女王1せい | ふんとうするたすく | 都会のトム&ソーヤ |
| オウマガドキ学園 | ベイマックス | 二ノ丸くんが調査中 |
| おしれのぼうけん | ぼくがぼくであること | 二日月、美少年 |
| おそ松さん | ぼくのプールサイド | 風夢秘伝、坊ちゃんへ |
| オリビア | ぼくらの7日間戦争 | 忘却探偵、満点ゲットシリーズ |
| お願い!!フェアリー | ぼくらのきせきの七日間 | 夢水清志郎 |
| かいい伝説ダレカラキイタれいかいの宿題 | ホラー横丁13番地 | 名たんでい杉山山田小学校学習まんが |
| かいつつゾロリ | マジックツリーハウス | 名犬チロリ、名探ていコナン |
| 怪盗レッド | まちのトムアンドソーヤ | 命をつなげドクターヘリ |
| かがみの国のアリス | ママ大好き | 夜が明けたら君に会いに行く |
| がじゅまるファミリー | マレフィセント | 余命1ヵ月の花よめ |
| カメレオン。 | マンガの東京喰種<re>(小説も) | 歴史マンガ |
| カラフル | ミスターインクレディブル | 歴史人物図鑑 |
| きみはかい物をみたか | むらさきの本 | |
| くうそうかがく | メジャー | |
| グッバイぼくだけのゴースト | もののけ姫 | |
| くりむパン | やまんばあさん | |
| ココロ屋 | ようかいルナ・ナビ①~⑩ | |
| こっきずかん | ようせいスーブ | |
| ことば遊び | リアルフェイス | |
| コナンの漢字とかなの謎 | リリアーネ | |
| このなみだが枯れるまで | わかったさんの物語 | |
| この世界からボクがきえたなら | わたしの苦手なあの子 | |
| こわいもの係・ねこのしょうせつ | わたるがびゅん | |
| コンビニ人間 | ワンピース | |
| こんびら狗 | 暗号クラブ | |
| さかなの本 | 暗殺教室 | |
| サッカーのひみつ(本の題名) | 雨ふる本屋 | |
| サッカーの本 | 沖縄釣王国 | |
| ざん念な生き物シリーズ | 屋上のテロリスト | |
| しくじり動物、ざんねんないきもの | 花のち晴れ | |
| じごくのラーメン屋 | 怪盗クイーン | |
| ジャレットのキラキラ魔法 | 海底2万マイル | |
| ジュニア空想化学読本 | 宮本むさし | |
| しょう公女セイラ | 弓を引く少年 | |
| しんげきの臣人、おそまつさん | 金の本 | |
| スノードーム | 金本矢口憲の人生 | |
| スラムダンク | 空想科学読本 | |
| せかいいさん | 君たちはどういきるか | |
| ぜにてんどう | 犬と私の10の約束 | |
| ソードアートオンライン | 狐霊のおり | |
| だから私は、明日のきみを描く | 五分後にいがいなけつまつ | |
| ダレン・シャン | 五分後に思わず涙 | |
| タンタンのぼうけん | 光とともに(マンガ) | |
| ちびまる子ちゃんの四字熟語教室 | 鋼の錬金術師 | |
| チョコレートアンダーグラウンド | 黒のショートショート | |
| デモナータ | 黒ま女さんが通る | |
| ドーン・ロシエルの季節 さよならのおくりもの | 黒子のバスケ | |
| どらえもん | 今夜は月がきれいですがとりあえず死ね | |
| トリコ | 坂本りょうま | |
| ないた赤おに | 山田小学校 | |
| なぞのパスワード1098 | 思い出のマーニー | |
| ナツカのオバケ事件ぼ | 耳の聞こえないメジャーリーガーウィリアム・ホイ | |
| ナビ・ルナ | 失格紋の最強賢者 | |
| なんでも修理クラブ! | 手足のないチアリーダー | |

問19. あなたはこれまで読んだ本に大好きな本がありますか？**中学3年生**

50音順(記入どおりに転記)

| | |
|---------------------|--------------|
| 「ゲーマーズ」のたぐい | 閃光スクランブル |
| 「君にしか聞こえない」 | 太陽にそそぐラストボール |
| 100km! | 探偵の探偵 |
| 5億年後、意外な結末 | 都会のトム&ソーヤ |
| 5分後 | 怖い本 |
| 8分音符のプレリユード | 魔女の宅急便 |
| Burn | 魔天使マテリアルシリーズ |
| jリーグ | 麻薬やドラッグの乱用 |
| Member | 未来の君が待つ場所で |
| いつも同じ夢を見ていた。 | 名のないししや |
| エリアの魔剣 | 野村克也の人間通 |
| オーダーメイド殺人クラブ | 妖怪アパートの幽雅な日常 |
| おこだでませんように | 羊と鋼の森 |
| かいけつゾロリ | 葉桜と魔笛 |
| ガラスのうさぎ | 掟上今日子シリーズ |
| カラフル | |
| キケン(有川浩さん) | |
| キングダム | |
| クラブアート | |
| クリスマス物語 | |
| けもの奏者 風夢排伝 | |
| コードブルー・ドクターヘリ緊急救命 | |
| ゴールデンランバー | |
| サッカーボーイズ | |
| シシャ | |
| ジョンFケネディ暗殺の裏側 | |
| タンムズ王子 | |
| ちはやふる(上の句、下の句、結びの句) | |
| チョコレート工場の秘密 | |
| ちょっと今から仕事やめてくる | |
| ちんじゅうの医学 | |
| DS刑事、少年Nの長い長い旅 | |
| ネイマールの本 | |
| はだしのゲン | |
| バッテリー | |
| はらぺこあおむし | |
| ハリーポッター | |
| ファンム・アレース | |
| ふたりの文化祭 | |
| ぼくらの7日間戦争 | |
| まだなにかある | |
| また同じ夢をみていた | |
| もじゃじゃペーター | |
| もったいないばあちゃん | |
| モモ | |
| ももたろう | |
| リア友トラブル | |
| りんごかもしれない | |
| わがはいは猫である | |
| 沖縄釣り図鑑 | |
| 悔いなき選択 | |
| 偽りの王子 | |
| 泣いちゃいそうだよシリーズ | |
| 空想科学読本シリーズ | |
| 君の名は | |
| 三国志 | |
| 死神カフェ | |
| 鹿の王 | |
| 弱キャラ友崎くん | |
| 取りのこされて | |
| 獣の奏者 | |
| 重力ピエロ | |
| 真田十勇士 | |
| 神様のカルテ | |
| 進撃の巨人 | |
| 人間失格 | |
| 図書館戦争 | |
| 瀬戸内少年野球団 | |
| 星の王子さま | |
| 星新一セレクション(増やしてほしい) | |
| 生協の白石さん | |
| 絶叫学級 | |
| 銭店堂 | |

子どもの読書アンケート

〇〇幼/小学校
5歳児/〇年 保護者

保護者の皆様へ

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。そのため宜野湾市では、全ての子どもが自主的に読書活動ができる読書環境の整備に向けて「第二次宜野湾市子どもの読書活動推進計画」の策定に取り組んでいるところです。

つきましては、保護者の皆様のご意見を本計画に反映させるため、アンケート調査を実施することになりました。全11問、5分程度のお時間で回答できますので、本調査にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年10月31日

宜野湾市教育委員会
教育長 知念 春美

各質問の、あてはまる項目の番号に○をつけてください。回答個数の指定がある設問は、()内に指定された個数分の回答をお願いします。

問1 あなたの年齢は？

- ① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代～

問2 あなたは本を読みますか？

- ① よく読む ② とくどき読む ③ 読まない

問3 あなたは幼児期に主に誰から本を読んでもらいましたか？

(2つまで○をつけてください)

- ① 父母から
② きょうだいから
③ 祖父母から
④ 幼稚園、保育所の先生から
⑤ 図書館員やボランティアから
⑥ ほとんど読んでもらったことはない
⑦ その他 ()

問4 あなたは市民図書館を利用したことがありますか？

- ① はい→→問5へお進みください ② いいえ→→問6へお進みください

問5 問4で①と回答された方にお尋ねします。月に何回ぐらい利用しますか？

- ① 月5回以上 ② 月3～4回 ③ 月1～2回
④ 年に数回 ⑤ 最近是利用してない

問6 あなたのご家庭では、お子様に本の読み聞かせを行なっていますか(過去含む)？

(1つだけ○をつけてください)

- ① 関心があり実際に行なっている →→→→→裏面の問7へお進みください
② 関心があるが行なっていない }
③ 関心がない } →裏面の問9へお進み
④ その他 () } ください

問7 問6で①と回答された方にお尋ねします。あなたの読み聞かせ習慣(過去含む)は、主に次のどれにあたりますか？(1つだけ○をつけてください)

- ① ほとんど毎日行なっている
- ② 2～3日に1回程度行なっている
- ③ 1週間に1回程度行なっている
- ④ 1ヶ月に1回程度行なっている
- ⑤ その他()

問8 問7の読み聞かせのための本を入手するのは主にどこですか？(3つまで○をつけてください)

- ① 書店、インターネットなどで購入
- ② 幼稚園、保育園の本を利用している
- ③ 宜野湾市民図書館の本を利用している
- ④ 移動図書館(ちゅらゆめ号)の本を利用している
- ⑤ 宜野湾市立中央公民館図書室の本を利用している
- ⑥ 他市町村の公共図書館の本を利用している
- ⑦ 家族や知人から贈られた本を活用している
- ⑧ その他()

問9 表面の問6で①以外の回答をされた方へお尋ねします。読み聞かせを行っていない(過去含む)理由または出来ない理由があれば教えてください。(複数回答可)

- ① 仕事や家事、つきあいで忙しいから
- ② 読みたい本が見つけれないから(子どもの年齢に合った本がわからない、本の内容がわからない)
- ③ 読みたい本がすぐに入手できないから(手の届くところに本がない、書店や図書館に出向く時間がない)
- ④ 幼稚園、保育園などで読んでもらっている
- ⑤ 子どもが一人で本を読むから
- ⑥ 子どもが本には興味がないから
- ⑦ その他()

問10 あなたが「子どもの読書に関する記念イベント等」について知っているもの全てに○をつけてください。

- ① 子育て支援ブックスタート事業(乳児一般健康診査の際に実施)
- ② 4月23日「子ども読書の日」
- ③ 4月23日～5月12日「こどもの読書週間」
- ④ 10月27日～11月9日「読書週間」
- ⑤ 毎月第3日曜日「ファミリー読書の日」・家庭の日

問11 あなたは、子どもが本に興味を持つようにするには、どういうふうにしたらいと思いますか？(ご意見があればお願いします)

()

※ ご協力ありがとうございました。ご多忙中恐れ入りますが

11月9日(金)までに学級担任へご提出くださいますようお願いいたします。

このアンケートに関する問い合わせは

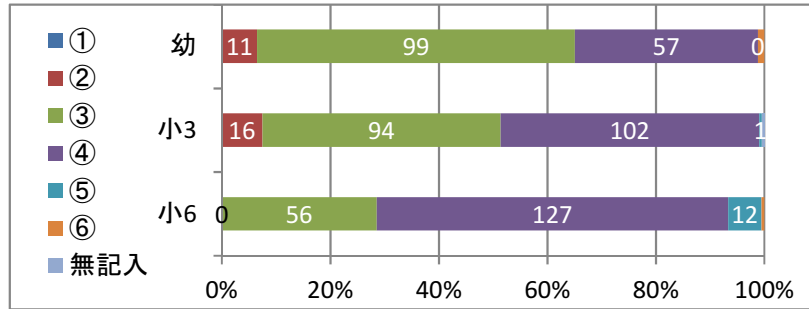
宜野湾市教育委員会生涯学習課 前底 (893-4431)までお願いします。 13

アンケート集計結果・及び分析

(2)保護者アンケート 幼稚園年長児、小学3年、小学6年

問1. あなたの年齢は？

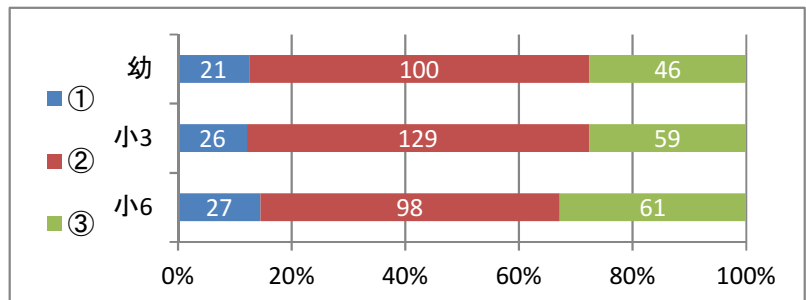
- ①10代
- ②20代
- ③30代
- ④40代
- ⑤50代
- ⑥60代



子どもの年代が低い程、保護者の年代も低くなっているが、保護者の年齢層としては、20代から40代がほとんどであることがわかる。

問2. あなたは本を読みますか？

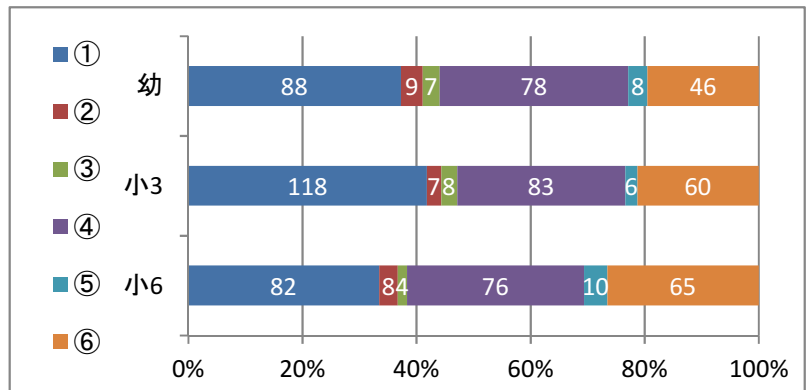
- ①よく読む
- ②ときどき読む
- ③読まない



各年代とも「よく読む」「ときどき読む」を合わせて70%近くが、本を読んでいると回答している。子どものアンケート結果と比較しても矛盾がないため、子どもは親の姿をよくみていることがわかる。

問3.あなたは、幼児期に誰から本を読んでもらいましたか？
(〇は2つまで)

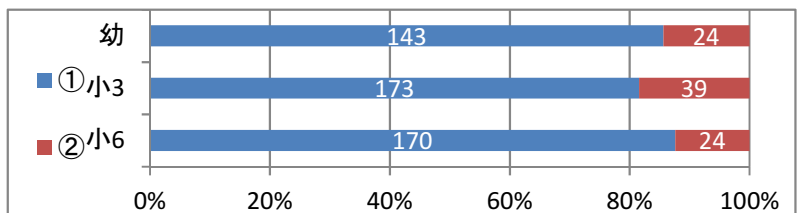
- ①父母から
- ②きょうだいから
- ③祖父母から
- ④幼稚園、保育所の先生から
- ⑤図書館員やボランティアから
- ⑥ほとんど読んでもらったことはない



どの年代においても、「父母から」の読み聞かせが高く、次に「幼稚園、保育所の先生」が続いている。その次に「ほとんど読んでもらったことはない」という回答が続いている。

問4. あなたは、市民図書館を利用したことがありますか？

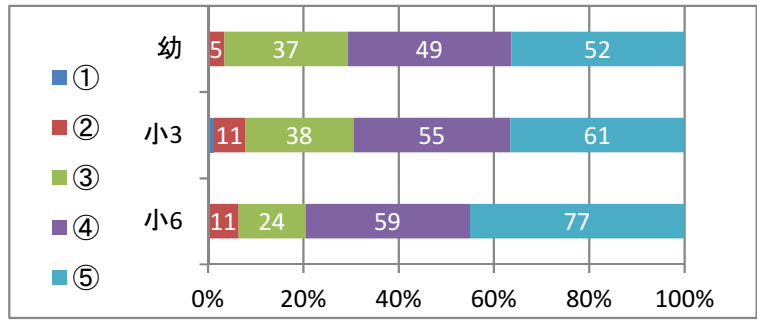
- ①はい
- ②いいえ



どの年代も、80%以上の保護者が、市民図書館を利用したことがあることがわかる。

問5. 問4で利用したことがある方にお尋ねします。月に何回ぐらい利用しますか？

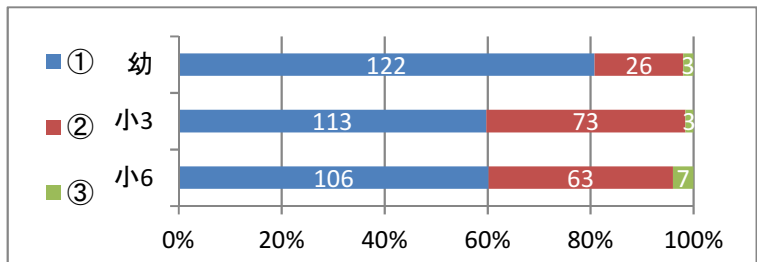
- ①月5回以上
- ②月3～4回
- ③月1～2回
- ④年に数回
- ⑤最近は利用していない



「月5回以上」から「年に数回」利用まで合わせると60%近くの利用が見られるが、残り40%近くが、最近は利用していない状況がわかる。

問6. あなたのご家庭では、お子さんに本の読み聞かせを行なっていますか？(過去含む)

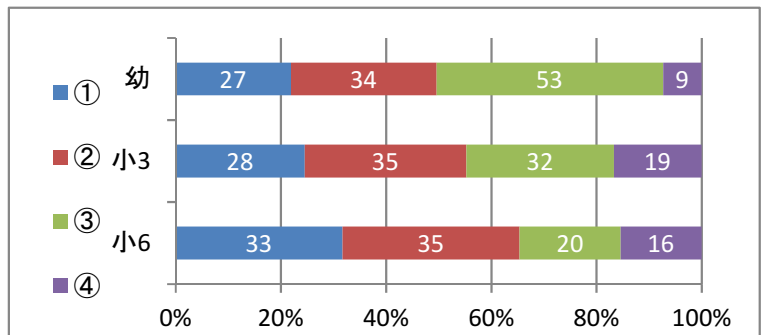
- ①関心があり実際に行なっている。
- ②関心があるが行なっていない。
- ③関心がない



各年代とも、読み聞かせへの関心が非常に高く、また実際に行なっている割合も過半数を超えていることがわかる。

問7. 問6で①と回答された方にお尋ねします。あなたの読み聞かせ習慣(過去含む)は、主に次のどれにあたりますか？

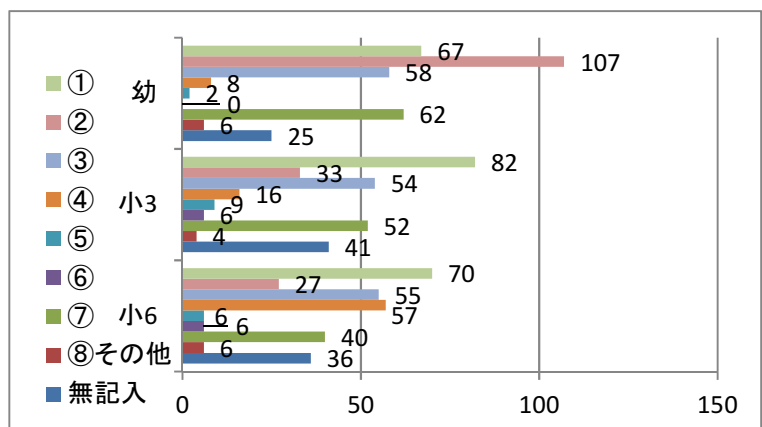
- ①ほとんど毎日行っている
- ②2～3日に1回程度行なっている
- ③1週間に1回程度行なっている
- ④1ヶ月に1回程度行なっている



各年代とも、「ほとんど毎日行なっている」「2～3日に1回程度行なっている」の回答で50%を占めていることがわかる。

問8. 問7の読み聞かせのための本を入手するのは主にどこですか？(〇は3つまで)

- ①書店、インターネットなどで購入
- ②幼稚園、保育園の本を利用
- ③宜野湾市民図書館の本
- ④移動図書館の本
- ⑤宜野湾市立中央公民館の本
- ⑥他市町村の公共図書館の本
- ⑦知人や友人から贈られた本
- ⑧無記入



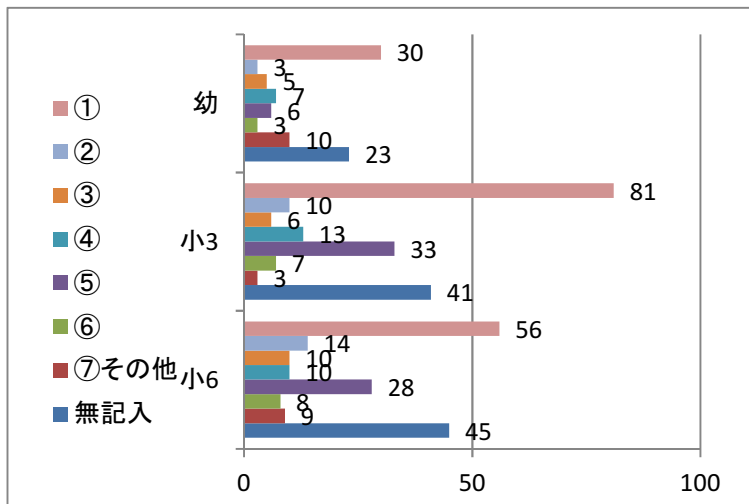
幼稚園の保護者に関しては、幼稚園の本の利用が高いことがわかる。小学生の保護者に関しては、「書店、インターネットなどで購入」が高くなっているが、小学生の保護者に関わらず幼稚園の本の一定利用も見受けられる。また全年代とも本を贈られる機会があることがわかる。

アンケート集計結果・及び分析

問9. 問6で①以外の回答をされた方へお尋ねします。読み聞かせを行っていない(過去含む)理由

または出来ない理由があれば教えてください。(複数回答可)

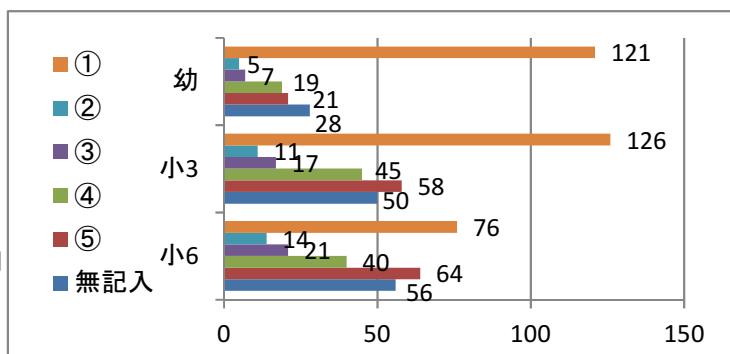
- ①仕事や家事で忙しい
- ②読みたい本が見つけれない
- ③読みたい本がすぐに入手できないから
- ④幼稚園、保育園などで読んでもらっているから
- ⑤子どもが一人で本を読むから
- ⑥子どもが本には興味がないから
- ⑦その他
- ⑧無記入



各年代とも、「仕事や家事で忙しい」の回答が最も高く、保護者の多忙ぶりがわかる。また年代が上がるにつれ、「子どもが一人で本を読むから」という回答も高く、子ども自身の成長の影響と考えられる。また全年代とも無記入が多く見られた。

問10. あなたが「子どもの読書習慣に関する記念イベント等」について知っているもの全てに○をつけてください。

- ①子育て支援ブックスタート事業
- ②4月23日「子ども読書の日」
- ③4月23日～5月12日「子どもの読書習慣」
- ④10月27日～11月9日「読書習慣」
- ⑤毎月第3日曜日「ファミリー読書の日」・家庭の日



特に小学校3年生以下の保護者の「子育て支援ブックスタート事業」の認識率が高いことがわかる。ちょうど、ブックスタート開始後の保護者であるか否かの結果の表れだと考えられる。また、この質問も無記入の回答が多く見られた。

問11.あなたは、子どもが本に興味を持つようにするには、どういうふうにしたらいと思いますか？

- ・小さいころから本を読んであげる。
- ・親が本を読んでいる姿を子どもに見せる。
- ・子どもの目の高さで、すぐに手に取れる場所に本を置く。
- ・家族で本を読む時間をつくる。
- ・読み聞かせだけでなく、一緒に読んだり、子どもに読んでもらったり、一緒に楽しむ。
- ・図書館や本屋に行く。
- ・自分がよんでおもしろかった本を子どもにもすすめる。
- ・本人が興味を持っている事に関する本を読み聞かせてあげる。

・・・等の意見がありました。

○宜野湾市子どもの読書活動推進計画策定委員会設置要綱

(目的)

第1条 子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年法律第154号）第9条第2項の規定に基づき宜野湾市子どもの読書活動推進計画（以下「推進計画」という。）を策定するため、宜野湾市子どもの読書活動推進計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、子どもの読書活動に関する調査及び研究を行い、推進計画を策定する。

(組織)

第3条 委員は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 教育部生涯学習課長
- (2) 教育部市民図書館長
- (3) 教育部市民図書館奉仕係長
- (4) 指導部指導課指導主事
- (5) 小中学校図書館司書代表
- (6) 健康推進部健康増進課すこやか親子係長
- (7) 福祉推進部保育課子ども育成係長
- (8) 幼稚園教諭代表
- (9) 読み聞かせサークル代表

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員長に教育部生涯学習課長、副委員長には教育部市民図書館長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総括する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は、選任の日から推進計画策定の日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第6条 委員会は、委員長が招集し、委員長が議長を務め、委員の半数以上が出席しなければ、これを開くことができない。

2 会議の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に出席を求め、意見又は説明を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育部生涯学習課に置く。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この要綱は、平成30年2月9日から施行する。

第二次宜野湾市子どもの読書活動推進計画策定委員名簿

任期：平成30年3月2日から平成31年3月20日

| 氏名 | 区分 | 備考 |
|--------|------------------------|--------------------|
| 島袋 喜美恵 | 教育部生涯学習課長 | 委員長 平成30年4月1日から |
| 山内 淳子 | 教育部市民図書館長 | 副委員長 |
| 比嘉 高志 | 教育部市民図書館奉仕係長 | |
| 知花 恭子 | 指導部指導課指導主事 幼稚園教諭代表 | 平成30年4月1日から |
| 松堂 さえ子 | 小中学校図書館司書代表 | |
| 浦崎 朋子 | 健康推進部健康増進課 すこやか親子係長 | |
| 玉城 学 | 福祉推進部こども企画課 こども育成係長 | |
| 川満 広美 | 読み聞かせサークル代表 | |

第二次宜野湾市子どもの読書活動推進計画の策定過程

| 開催日 | 内 容 |
|----------------|--|
| 平成30年3月2日（金） | 第1回 策定委員会 ① 辞令交付 ② 推進計画策定の経緯説明 ③ 策定までの日程確認 |
| 平成30年8月22日（水） | 第2回 策定委員会 ① 第一次推進計画の成果と課題 ② 児童生徒、保護者アンケート内容の調整 |
| 平成30年10月31日（水） | 児童生徒、保護者等へアンケート依頼 調査期間 平成30年11月1日～11月9日 |
| 平成30年11月28日（水） | 第3回 策定委員会 ① 児童生徒、保護者アンケートの集計結果説明 ② 目次決め ③ 各委員へ原稿割振り確認 |
| 平成31年1月18日（金） | 第4回 策定委員会 ① 各担当進捗状況確認 |
| 平成31年2月7日（木） | 第5回 策定委員会 ① 各担当進捗状況確認 ② 各章とりまとめの確認 |
| 平成31年2月25日（月） | 第6回 策定委員会 ① 各担当進捗状況確認 ② 各章とりまとめの確認 |
| 平成31年3月7日（木） | 社会教育委員会議へ第二次推進計画（素案） について意見聴取 |
| 平成31年3月13日（水） | 第7回 策定委員会 第二次推進計画、最終確認 |
| 平成31年3月20日（水） | 教育長決裁 |
| 平成31年3月27日（水） | 定例教育委員会議へ第二次推進計画について 報告 |

宜野湾市社会教育委員会議における委員の意見等

【平成 30 年度 第 4 回社会教育委員会議】

日 時 平成 31 年 3 月 7 日(木) 15:30~17:00

場 所 宜野湾市立中央公民館 研修室① (3階)

議 題 第二次宜野湾市子どもの読書活動推進計画(素案)について

出席者 委員：宮城政一(議長) 多和田文子(副議長) 新垣真弓 盛長健
前田美恵子 藤波潔 早田実 渡名喜庸松 事務局(3名)

委員からの意見等

◎資料配送サービスと蔵書検索システムの構築について

とても大切なことであり、是非実現させて欲しい。その前提として蔵書の検索システム(市民図書館や市内小中学校の蔵書)は構築されているのか。自分で検索が可能になれば、あとはリクエストし、配送が容易になると考えられる。

さらに学校や市民図書館以外の中央公民館図書室や市立博物館(資料室)、沖縄国際大学をはじめ、県立図書館や県内大学図書館の蔵書の検索を可能にする、本を集めることが出来る仕組みを作ることが重要である。

(今後、学習指導要領の改正に伴って、資料を収集しまとめて発表をする機会が増え、資料収集の必要性も多々出てくる。学校単位で書籍を購入することも非現実的なため、市民図書館や県立図書館、大学図書館と繋がることは重要であり、単に物理的に物を運ぶネットワークだけでなく、情報のネットワーク化も大切である。)

◎策定の過程等首長部局との連携について

子どもの読書活動推進計画については、教育委員会のみならず保育部局との連携も念頭に置く必要があるため、総合教育会議に議題として上げる必要がないか。さらに啓発広報について、教育委員会だけでは広がりには限界があるため、首長部局も一緒に展開出来るよう体制を構築した方がいいと考える。

◎「読書」の概念について

「ページをめくらせることが目的なのか」「読ませることが目的なのか」どちらを目指しているのか。現在は、ネット端末でも読書が出来る時代で、ネット上に存在するマガジンを含めた「本」等、活字媒体をどう使いこなしていくかという内容が今回の計画では触れられていない気がするため、その辺を今後検討していく必要がある。

◎読書冊数について

小さい時は、多読(量)が勧められる状況があるが、徐々に量ではなく質が重要になるため、2択ではなく、どうやって移行するかが課題である。

◎読書通帳について

銀行の通帳のような、借りた本の名前・ページ数・値段が印字され、本を読むごとに、どれくらい価値のある物を読んだかということが数値化され、可視化につながる。他自治体で取り組んでいる事例があるようなので、調べて参考にするといい。

◎本を読むことの大切さについて

今回の計画は、本を読ませることに焦点をおいているようだが、そもそもどうして本を読んだ方がいいのかといった、本を読むことの大切さを伝える必要がある。読書冊数を掲げて、子どもたちに読書を勧めるのではなく、根本から読書の大切さを伝えていった方がいい。これは子どもだけではなく、親にも同時に啓発していく必要がある。

◎電子書籍について

資料配送サービスといったインフラ整備も大切だが、時代に合わせた電子書籍の導入も検討した方がいい。検索システムと配送サービスが構築されても、それを届けてもらうタイムロスが生じる。電子書籍であれば、在庫も不要、配送のタイムロスもなくなり、さらに同時に何人でも読むことが可能になる。

◎読書通帳のアプリ開発について

今後、プログラミングの授業も入ってくるので、先ほどの読書通帳について、子どもたち自身にアプリ開発をさせることを検討してみるといい。

◎計画の期間について

国・県の動向からすると、第二次推進計画の期間が長すぎではないか。もっと短いスパンで検討する方が妥当である。

◎図書館分館建設や専門職員の配置の堅持について

予算が伴う内容なので、この計画を実現させていく上で、財政担当を策定委員の中に組み込むことは重要なことと考える。

◎ブックスタート事業について

子どもが絵本に親しむとても良い機会なので、今後も発展・継続して取り組んで欲しい。

子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成十三年十二月十二日法律第百五十四号)

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども(おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(以下「子ども読書活動推進基本計画」という。)を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画(都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画)を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。



第二次宜野湾市子どもの読書活動推進計画

.....

平成31年 3月

発行：宜野湾市教育委員会
教育部 生涯学習課
〒901-2203
沖縄県宜野湾市野嵩一丁目1番2号
電話：098-893-4431
